

令和4年度  
事業報告書



社会福祉法人  
三木市社会福祉協議会

# 目 次

## 【1 法人の組織整備と運営強化】

- (1) 組織・運営に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (2) 財務に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (3) 人材確保・育成に関すること・・・・・・・・・・・・ 1 2
- (4) 広報・啓発に関すること・・・・・・・・・・・・ 1 6

## 【2 地域福祉推進体制の充実・発展】

- (1) 地域コミュニティ活動の推進・・・・・・・・・・・・ 1 8
- (2) 地域支えあい体制づくり・・・・・・・・・・・・ 2 3
- (3) ボランティア活動相談・支援・・・・・・・・・・・・ 3 2
- (4) ボランテニア・フィールドワークの推進・・・・・・・・ 3 5
- (5) ボランティア活動者同士の連携・協働の推進・・・・ 3 6
- (6) 活動おこしのための機会づくり・・・・・・・・・・・・ 3 6
- (7) ボランティア活動顕彰・・・・・・・・・・・・ 3 7
- (8) 防災と地域福祉の連携・・・・・・・・・・・・ 3 7
- (9) 共にありがとう活動・・・・・・・・・・・・ 3 9
- (10) ボランティア活動の情報収集・発信・・・・・・・・ 4 3

## 【3 日常生活自立支援の充実】

- (1) 総合相談機能の取り組み・・・・・・・・・・・・ 4 5
- (2) 介護予防の取り組み・・・・・・・・・・・・ 5 0
- (3) 権利擁護と自立支援の取り組み・・・・・・・・・・・・ 5 2

## 【4 在宅福祉・医療サービスの充実】

- (1) 介護・医療サービス関連の取り組み・・・・・・・・ 5 6
- (2) 障害福祉サービス関連の取り組み・・・・・・・・ 6 1

# 令和4年度 事業報告

令和4年度は、当事者、住民市民が主体となって福祉のまちづくり実現に向け取り組む「第4次地域福祉活動計画」と地域福祉の基盤づくりを図る社協の強化計画である「第2次基盤強化計画」の1年目として各事業に取り組みました。1年間の取組について報告いたします。

## 1 法人の組織整備と運営強化

本会の安定的な経営にむけて、組織強化を図りながら各事業に取り組みました。

組織経営に関しては、業務執行の決定機関である理事会の組織強化のため、社会福祉法に基づき本会が運営する施設の管理者を理事に選任しました。また、地域住民及び専門分野の関係者の参画で各種事業、サービスや方向性を協議する各委員会の意見を理事会で報告し、進捗状況の共有に務めました。

財務面では、介護、障害の各事業で新型コロナウイルス感染症により、一部の施設で利用の一部休止を行った時期もあり、一時的に収入の低下が見られました。また、物価・エネルギー価格高騰により事業にかかる費用が増加しました。しかし、感染防止対策を徹底し可能な限りの収入確保と経費節減に努め、影響を最小限にとどめました。その結果、黒字を確保することができ、経営状況の改善を図ることができました。

## 2 地域福祉推進体制の充実・発展

新型コロナウイルス感染症により、ボランティアグループ等の活動が困難な中、コロナ禍で懸念される孤独や孤立、虚弱や意欲低下の防止に取り組む団体の活動を住民市民、関係団体に積極的に発信し、活動の再開や活発化にむけた支援に取り組みました。

三木市より受託している「生活支援体制整備事業」に基づき、生活支援コーディネーターを配置し、社会的孤立を生まないつながりづくりを支援しました。市内6地区の市民協議会の暮らし・生活部会での地域課題や支えあいに関する協議を補完し、一人でも多くの住民市民が参画していくよう、地域の実情に応じた取組を進めました。

また、成り立ちや活動の異なる様々な組織や団体が連携・協働して効果をあげるには、お互いの存在を認めあい、協議を進める場が必要となります。連携による目標設定や推進内容を計画化して達成する活動を支援しました。中でも学校に行きづらい子ども、ひきこもりがちな本人やその親の相談、居場所や体験の機会づくりに取り組む当事者団体、ボランティア・市民活動団体、事業所、行政、社協でつくる協働ネットワーク「ほっぷ☆すてっぷ」により、「不登校・ひきこもりを考える集い」を開催することができました。集いの開催により支援を行う周りにいる人たちが、本人との関わりを改めて振り返ることができました。参加した本人や家族は、不登校・ひきこもり経験者から話を聞くことで、いつか乗り越えられるという希望が持てるような機会となりました。

### 3 日常生活自立支援の充実

あんしんサポートセンターによる地域の総合相談窓口の開設により、生活課題の相談を受け、解決に向けて支援をしました。

地域で生活される高齢者や障がい者を支える取組として、判断能力が十分でない人を支える成年後見制度や日常生活自立支援事業への関心が高まる中、令和4年度は啓発活動に注力し、相談件数の増加につながりました。また、制度説明会の継続実施、地域住民や関係機関からの依頼による出前講座を開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により収入が減少し、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯への資金貸付は令和4年9月で受付終了となり、本貸付の新規相談件数は減少しました。

一方、早期に本貸付を利用された方に関しては、償還が令和5年1月より開始となり、10年という長期にわたり償還が継続することになります。厳しい生活が続く借受世帯等への継続的な関りをもつため、令和4年度は、償還手続きや償還免除に関する相談に取り組みました。また、本会独自の取組として現在の生活上の困りごとの聞き取り、赤い羽根共同募金を財源とした生活応援セットの提供を希望者に行いました。

### 4 在宅福祉・医療サービスの充実

指定管理施設であるデイサービスセンター、在宅介護支援センター、はばたきの丘の運営においては、市民や利用者のニーズを的確に把握し、より利用者本位で地域に密着したサービスを展開しました。デイサービスセンターでは利用者、家族に対して利用に関するアンケートを実施し、機能訓練メニューの見直し等を行いサービスの向上に務めました。また、通所系サービス、訪問系サービスを含む各事業所では安心して利用していただけるよう新型コロナウイルス感染症予防の対策を徹底し、サービスを継続しました。

また、コロナ禍において施設外での活動や地域との交流が困難な中、ボランティアグループによる大道芸や人形劇をリモートにより映像で視聴することで利用者に楽しんでいただきました。施設の工夫により、利用者にとって少しでも楽しみを持って日々の暮らしが豊かになるよう、新しいレクリエーションを取り入れた活動を行いました。



は「赤い羽根共同募金配分事業」を示します。

## 1 法人の組織整備と運営強化

### (1) 組織・運営に関すること

#### ①理事会・評議員会・監査機能の充実

本会の執行機関である理事会、議決機関である評議員会の開催及び監査を実施。

(実績)

ア 理事会 6回

適切に会長の職務状況報告や重要事項に関する協議を実施できた。

重点

基盤計画  
1-(1)

開催日 (出欠状況)	協議事項等
第1回 6月 7日 (理事 11/13人出席) (監事 1/ 2人出席)	(1) 審議事項 議案第 1号 令和3年度事業報告について 議案第 2号 令和3年度収支決算について 議案第 3号 令和4年度第1次補正予算について 議案第 4号 評議員選任候補者の推薦について 議案第 5号 理事選任候補者の提案について 議案第 6号 第1回評議員会(定時評議員会)の開催について  (2) 報告事項 報告第 1号 諸規程の一部改正について
第2回 8月 2日 (理事 12/14人出席) (監事 2/ 2人出席)	(1) 審議事項 議案第 7号 令和4年度第2次補正予算について 議案第 8号 評議員選任候補者の推薦について 議案第 9号 第2回評議員会の開催について
第3回 10月 6日 (理事 12/14人出席) (監事 1/ 2人出席)	(1) 審議事項 議案第10号 経理規程の一部改正について 議案第11号 資金運用計画について (2) 報告事項 報告第 2号 会長の職務執行状況報告について 報告第 3号 地域福祉センターひまわり廃止に向けた市との協議について
第4回 12月 5日 (理事 9/14人出席) (監事 2/ 2人出席)	(1) 審議事項 議案第12号 地域歳末たすけあい運動配分事業について  (2) 報告事項 報告第 4号 指定居宅介護支援事業者運営指導の結果及び対応について 報告第 5号 地域福祉センターひまわり廃止に向けた市との協議について
第5回 2月 2日 (理事 13/14人出席) (監事 2/ 2人出席)	(1) 審議事項 議案第13号 評議員選任候補者の推薦について (2) 報告事項 報告第 6号 地域福祉センターひまわり廃止に向けた市との協議について

第6回 (理事 13/14人出席) (監事 2/2人出席)	3月23日	(1) 審議事項 議案第14号 令和4年度第3次補正予算について 議案第15号 令和5年度事業計画について 議案第16号 令和5年度収支予算について 議案第17号 令和5年度役員賠償責任保険の加入について 議案第18号 第3回評議員会の招集について (2) 報告事項 報告第7号 会長の職務執行状況報告について 報告第8号 令和4年度地域歳末たすけあい配分事業について 報告第9号 地域福祉センターひまわり廃止に向けた市との協議について(年間報告)
-------------------------------------	-------	---

イ 評議員会 3回

開催日(出欠状況)	協議事項等
第1回 (評議員 18/24人出席) (理事 2人出席) (監事 1人出席)	6月23日 (1) 審議事項 議案第1号 令和3年度事業報告について 議案第2号 令和3年度収支決算について 議案第3号 令和4年度第1次補正予算について 議案第4号 理事の選任について
第2回 (評議員 19/24人出席) (理事 3人出席)	8月12日 (1) 審議事項 議案第5号 令和4年度第2次補正予算について
第3回 (評議員 16/24人出席) (理事 3人出席)	3月29日 (1) 審議事項 議案第6号 令和4年度第3次補正予算について 議案第7号 令和5年度事業計画について 議案第8号 令和5年度収支予算について

ウ 監事監査 1回

開催日(出欠状況)	協議事項等
5月18日 (監事 2/2人出席)	監事による監査を実施 令和3年度 事業監査 令和3年度 会計監査

エ 評議員選任・解任委員会 3回

開催日(出欠状況)	協議事項等
第1回 6月8日(決議日) 委員全員から書面による同意	(1) 審議事項 議案第1号 評議員の選任について
第2回 8月3日(決議日) 委員全員から書面による同意	(1) 審議事項 議案第2号 評議員の選任について
第3回 2月2日 (委員 5/5人出席)	(1) 審議事項 議案第3号 評議員の選任について

オ 正副会長会 6回

開催日(出欠状況)	協議事項等
第1回～6回 5月～3月 (正副会長 3名出席)	理事会、評議員会 提出議案の事前審議 事業執行に関する協議、報告等

(担当課：法人運営課)

②委員会機能の充実

ア 法人運営委員会

2回開催

人材確保・定着のため、安心して働ける職場環境づくりについて協議を行った。

開催日	内容
11月8日	・現状について
1月16日	・令和5年度人材定着に向けた取組について

(担当課：法人運営課)

イ ボランティア活動プラザみき運営委員会

11回開催

複合型施設にむけた協議や地域の協議の場における対話のあり方など、タイムリーな課題について協議を行い、活動者支援につながる要望書の提出や資料作成などを行うことができた。

開催日	内容
4月22日	第4期みきボランティア活動応援共感ファン্ড応募団体審査会 2022年度みきボランティア活動記章贈呈者の募集について
5月27日	誰もが安心して話せる「対話」の場の支援について
6月24日	2022年度みきボランティア活動記章贈呈の選考について 市民活動センター廃止に伴う複合型施設の方向性について
7月22日	みきボランティアフェスタ2022の開催について 複合型施設の市民活動センター機能充実にに向けた意見提言について
8月26日	「ほっとけない！地域づくりを考える集い」について
9月30日	複合型施設の市民活動センター機能充実にに向けた要望書について
10月28日	支えあい活動拠点づくりの支援について
12月23日	第4期みきボランティア活動応援共感ファン্ডの評価と第5期 みきボランティア活動応援共感ファン্ডについて
1月27日	令和4年度事業評価について
2月24日	ふれあいサロン活動実施グループ登録及び支援に関する要綱の 一部改正について 令和5年度事業計画（案）について
3月24日	第5期みきボランティア活動応援共感ファン্ড応募状況について 次年度の運営委員会の進め方と主な協議内容について

(担当課：ボランティア活動プラザみき)

ウ 在宅福祉サービス検討委員会

2回開催

在宅福祉サービス事業について、市民の立場にたったサービスの実施に向け、次のことについて、協議検討を行った。

開催日	内容
10月18日	日常生活自立支援事業体制の拡充について 市立デイサービスセンターひまわりの閉鎖に伴う課題について
2月21日	令和4年度事業評価と令和5年度事業計画について 生活困窮者への支援について 市立デイサービスセンターひまわりの閉鎖に伴うあんしんサポートセンターの今後について

(担当課：地域生活支援課、相談支援課)

	<p>エ 三木市立障害者総合支援センターはばたきの丘運営委員会 3回開催（6月、10月、2月） 半期ごとの事業報告、事業計画策定、第4次地域福祉活動計画策定にあたっての意見をいただいた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">開催日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">6月28日</td> <td>令和4年度はばたきの丘事業計画、委員会・プログラム・行事等年間計画について 第4次地域福祉活動計画について</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10月25日</td> <td>はばたきの丘上半期事業報告及び下半期の計画について 就労支援B型事業での就労に向けた取り組みについて BCP計画に基づいた青山1丁目ボランティアグループとの避難訓練について</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2月28日</td> <td>令和4年度はばたきの丘事業評価（案）について 令和5年度はばたきの丘事業計画（案）について</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">（担当課：はばたきの丘）</p>	開催日	内容	6月28日	令和4年度はばたきの丘事業計画、委員会・プログラム・行事等年間計画について 第4次地域福祉活動計画について	10月25日	はばたきの丘上半期事業報告及び下半期の計画について 就労支援B型事業での就労に向けた取り組みについて BCP計画に基づいた青山1丁目ボランティアグループとの避難訓練について	2月28日	令和4年度はばたきの丘事業評価（案）について 令和5年度はばたきの丘事業計画（案）について
開催日	内容								
6月28日	令和4年度はばたきの丘事業計画、委員会・プログラム・行事等年間計画について 第4次地域福祉活動計画について								
10月25日	はばたきの丘上半期事業報告及び下半期の計画について 就労支援B型事業での就労に向けた取り組みについて BCP計画に基づいた青山1丁目ボランティアグループとの避難訓練について								
2月28日	令和4年度はばたきの丘事業評価（案）について 令和5年度はばたきの丘事業計画（案）について								

③危機管理マニュアルの作成・見直しと市外災害対応

	<p>ア 感染症マニュアルの整備（新型コロナウイルス感染症への対応等） マニュアルの作成までには至らなかったが、新型コロナウイルスへの対応については、適宜協議を行い対応した。</p> <p>イ 事業継続計画（BCP）の策定 計画の策定には至らなかった。令和5年度中には策定が必要であるため、令和4年度には各課と調整する。</p> <p>ウ 市外対応（検討） 市外への災害に迅速に対応するための体制の構築 （実績） 【市内災害対応】 三木市内の台風接近等に伴う非常配備体制 実績 1回 【市外災害対応】 実績無し  （担当課：法人運営課、ボランティア活動プラザみき、地域生活支援課、相談支援課、はばたきの丘）</p>
--	---

④市内社会福祉法人連絡協議会の取り組み

	<p>社会福祉法人制度改革に伴い、社会福祉法人の責務として「地域における公益的な取組」が位置付けられ、市内の各法人で「地域における公益的な取組」が推進されている。また、県内では、社会福祉法人の専門性や機能を生かした取り組みの情報共有、連携を図るため「社会福祉法人連絡協議会」が設置されていることから、三木市においても設置に向けた取り組みを進める。 （実績） 令和4年度は情報交換会・学習会を予定していたが、令和3年度に引続き新型コロナウイルス感染症予防の影響により延期とした。令和5年度に改めて実施の予定。  （担当課：法人運営課）</p>
--	--

⑤職場環境の整備

	<p>前年度から継続して取り組んでいる働き方改革への対応について、専門家等の助言を得ながら規程等の改正を行う。また、各種制度改正による対応のほか、よりよい職場環境をめざし、改善を図る。</p>
--	--



	<p>(実績)</p> <p>ア 給与規程等関係規程の見直し ●処遇改善関係の補助金・交付金を申請した。</p> <p>イ 衛生委員会の開催（月1回）</p> <p>ウ 社会保険の適用拡大への対応 対象者を確認し、適切な説明を行った</p> <p>エ 健康診断の実施 10月～12月</p> <p>オ ハラスメント防止研修実施 管理監督職向けに研修を実施（1回）</p> <p>カ 産業カウンセラーと連携した職員の相談窓口強化</p> <p style="text-align: right;">(担当課：法人運営課)</p>
⑥ ICT（情報通信技術）の推進	
	<p>働き方改革の提言において、医療、福祉サービスの改革プランでは生産性の向上が示され、ロボット・AI（人工知能）等の活用が進められている。 介護、障害、医療にとどまらず、業務全般の革新に向けた取り組みを進める。</p> <p>ア 介護、障害、医療におけるICTの活用 ●訪問介護事業所におけるLINEWORKSの活用</p> <p>イ 事務処理の効率化に向けたICTの活用 ●各部署とシステム化に関する内容について協議をした。導入に向けた協議を継続し、準備を進める。</p> <p style="text-align: right;">(担当課：法人運営課)</p>

(2) 財務に関すること

①財務指標分析の実施	
<p><b>重点</b></p> <p>基盤計画 1-(1) 2-(1)</p>	<p>ア 役員会への報告 的確な経営判断ができるように、正副会長会議に収支状況を報告した。</p> <p>イ 各部署・部門への指導 事業計画に基づいた活動を実施するため、適正な予算管理を行うと共に月次収支を分析し、指導した。 (実績) 規程に基づき適正な会計事務を行えるよう文書等で各部署、部門へ指導を行った。また、本会の会計担当職員に対して会計担当者説明会を実施した。</p> <p>ウ 財務指標分析の実施 引き続き、具体的な指標づくりに向けて取組を進めていく。</p> <p style="text-align: right;">(担当課：法人運営課)</p>
②指定管理施設の運営分析	
<p><b>重点</b></p> <p>基盤計画 2-(2)</p>	<p>市担当課と定期的に情報交換の場を設け、情報共有化が図れるように協議。</p> <p>&lt;指定管理施設&gt; デイサービスセンター7施設（担当課 介護保険課） 障害者総合支援センターはばたきの丘（担当課 障害福祉課） (実績) 施設の運営状況や維持管理また修繕について随時、協議を行った。 デイサービスセンターひまわりに関しては「青山7丁目団地再耕プロジェクト」により、その区域に、2023（令和5）年度に特別養護老人ホームとデイサービスセンターの建設が予定されているため、今後のデイサービスセンターひまわりの運営について協議を開始した。 はばたきの丘に関しては7月7日に課題の確認と今後の方向性について協議を行った。 9月21には自立訓練事業のニーズ調査に関すること、3月28日にはニーズ調査の結果報告と今後</p>

の対応について共有した。

(担当課：法人運営課、地域生活支援課、はばたきの丘)

③社協会員加入促進・募金の啓発

会員加入について組織運営と活動への理解と協力が得られるよう事業を実施し、啓発を行った。

善意募金においては、どのような事業、活動に使われているか明確にして募金者の共感が得られるように、社協だより等で啓発を行った。

ア 各地区区長協議会への会員会費、募金の説明と啓発

区長協議会連合会定例理事会出席3回

社協会費、善意募金への理解を得るため、区長協議会へ説明と啓発を行った。

イ 住民への広報活動について

共感や理解が得られるように説明資料や広報内容を工夫した。

(社協会費実績)

(単位：円)

区分		令和4年度実績	令和3年度実績	比較増減
一般会費	三木	1,879,900	1,800,100	79,800
	三木南	235,000	230,000	5,000
	別所	614,100	613,066	1,034
	志染	313,000	314,000	△1,000
	細川	262,000	262,500	△500
	口吉川	224,500	225,250	△750
	緑が丘	431,200	489,105	△57,905
	自由が丘	932,976	671,989	260,987
	青山	560,010	538,950	21,060
	吉川	867,000	837,000	30,000
小計		6,319,686	5,981,960	337,726
名誉会費		0	0	0
賛助会費		308,000	395,000	△87,000
団体会費		129,000	135,000	△6,000
合計		6,756,686	6,511,960	244,726

重点

基盤計画  
2-(1)

(善意募金実績)

(単位：円)

地区	令和4年度実績	令和3年度実績	比較増減
三木	746,740	811,615	△64,875
三木南	155,000	155,000	0
別所	417,750	420,873	△3,123
志染	258,811	258,236	575
細川	183,100	198,200	△15,100
口吉川	153,600	159,400	△5,800
緑が丘	276,700	330,792	△54,092
自由が丘	451,563	419,330	32,233
青山	200,262	217,396	△17,134
吉川	527,185	536,750	△9,565
篤志	10,000	1,945	8,055
合計	3,380,711	3,509,537	△128,826

(善意銀行実績)

(単位：円)

月日	申込者(敬称略)	内容	寄託金額
4月11日	匿名	地域福祉活動の推進のために	22,408
5月2日	匿名	地域福祉活動の推進のために	100,000
6月15日	匿名	ボランティア基金へ	10,205
6月15日	匿名	地域福祉活動の推進のために	30,000
7月4日	金井 俊治	共感ファンドAに	3,000
7月28日	匿名	共感ファンドAに	10,000
8月1日	金井 俊治	共感ファンドBに	3,000
8月3日	植田 吉則	共感ファンドAに	3,000
8月4日	匿名	共感ファンドAに	30,000
8月5日	株式会社ヤクルト本社兵庫 三木工場	地域福祉活動の推進のために	100,000
8月8日	税理士法人 MAC	共感ファンドAに	10,000
8月8日	医療法人社団小児科神沢ク リニック	共感ファンドAに	1,500
8月8日	医療法人社団小児科神沢ク リニック	共感ファンドBに	1,500
8月9日	匿名	共感ファンドAに	5,000
8月10日	村岡 裕子	共感ファンドAに	30,000
8月10日	有野 勇	共感ファンドAに	2,000
8月17日	黒田 高広	共感ファンドAに	20,000
8月18日	三木ロータリークラブ	共感ファンドAに	50,000
9月8日	匿名	共感ファンドBに	4,000
9月15日	藤江 清史	共感ファンドAに	3,000
10月21日	西奥地区老人クラブ	地域福祉活動の推進のために	624
10月27日	三木市内奉仕六団体親睦チ ャリティーゴルフ大会実行 委員会	地域福祉活動の推進のために	100,000
11月1日	三木地区さつきクラブ	地域福祉活動の推進のために	100,000
11月1日	三木南交流センター 広野 老人会	地域福祉活動の推進のために	5,000
11月1日	三木南交流センター小林老 人会	地域福祉活動の推進のために	5,000
11月1日	別所町老人クラブ	地域福祉活動の推進のために	50,000
11月1日	志染老人クラブ	地域福祉活動の推進のために	50,000
11月1日	口吉川老人クラブ	地域福祉活動の推進のために	30,000
11月1日	緑が丘友愛クラブ	地域福祉活動の推進のために	20,000
11月1日	自由が丘老人クラブ	地域福祉活動の推進のために	45,000
11月1日	青山地区連合老人会	地域福祉活動の推進のために	15,000
11月1日	吉川町老人会連合会	地域福祉活動の推進のために	53,800
11月2日	細川町老人クラブ連合会	地域福祉活動の推進のために	30,000
11月7日	有限会社こさる	地域福祉活動の推進のために	200,000
11月9日	三木市ユネスコ協会	地域福祉活動の推進のために	18,850
11月15日	匿名	地域福祉活動の推進のために	100,000
11月22日	東播建設労働組合三木支部	地域福祉活動の推進のために	3,567
12月12日	市野瀬地区 友情会	地域福祉活動の推進のために	5,000
12月13日	みきジュニア防災クラブ	善意銀行のしくみを支援する	18,200
12月17日	匿名	地域福祉活動の推進のために	20,000
1月10日	三木市高齢者大学ゴルフ倶 楽部 交友会	地域福祉活動の推進のために	15,100

1月10日	ふれあいグループ みなみっこ	地域福祉活動の推進のために	4,195
1月30日	匿名	吉川地区における地域福祉活動のために	24,000
1月31日	三木市老人クラブ連合会	地域福祉活動の推進のために	30,000
2月3日	古野電気株式会社 三木工場	地域福祉活動の推進のために	81,122
2月7日	兵庫県立三木高等学校 2年5組探求1班	子育て支援のために	9,440
3月3日	匿名	地域福祉活動の推進のために	20,000
	募金箱	共感ファンドAに	3,596
	募金箱	共感ファンドBに	521
	掲載不可	—	57,670

	寄託	
	件数	金額
金銭	54件	1,554,298円
物品	29件	

(社協寄付実績)

(単位：円)

月日	申込者(敬称略)	内容	寄託金額
4月14日	八木 知秀	デイサービスセンター細川に	100,000
5月2日	岩崎 千恵子	ヘルパーステーションに	20,000
5月6日	吉川町職員(三木市)退職OB会	吉川町における社会福祉事業に	87,082
7月12日	匿名	吉川町における社会福祉事業に	3,827
7月13日	匿名	本会運営の支援に	30,000
8月26日	匿名	本会運営の支援に	2,128
8月31日	匿名	本会運営の支援に	2,000
10月4日	三宅 千恵子	デイサービスセンターの運営に	1,000,000
10月19日	味地 章	福祉有償運送サービス事業に	10,000
11月8日	三木自由が丘ペン習字会	ボランティア基金に	8,604
11月15日	匿名	地域福祉センターひまわりに	100,000
11月17日	岩崎 千恵子	ヘルパーステーションに	20,000
11月17日	匿名	本会事業の支援に	10,000
11月17日	匿名	本会事業の支援に	20,000
12月9日	匿名	本会事業の支援に	22,512
12月21日	市職員OB一同	本会事業の支援に	16,790
2月8日	三木仏教履信会親和部	本会の運営の支援に	19,840
3月18日	匿名	福祉有償運送サービス事業に	10,000
3月31日	募金箱(市民活動センター)	ボランティア基金に	2,004
	掲載不可		110,000

	寄託	
	件数	金額
金銭	20件	1,594,787円
物品	13件	

赤い羽根共同募金運動による配分  
共同募金会の受配事業を効果的に推進し、受配金の活用を行った。

(配分実績)

(単位：円)

配分事業	配分金額
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ活動の推進 ふれあいサロン開設推進、ふれあい会食会活動の支援等 マイクロバス等地域活動車両の貸出、運行</li> <li>・活動おこしのための機会づくり 各ボランティア、市民活動講座の開催</li> <li>・広報・啓発 社協だよりの発行、点訳・音訳による情報発信</li> <li>・ボランティア活動相談・支援</li> <li>・生活困窮者への相談支援</li> </ul>	6,006,287

※令和3年度募金実績の約84%が三木市に配分され地域福祉活動に活用

(募金実績)

(単位：円)

募金種別	募金額
戸別募金	3,417,509
街頭募金	65,644
大口募金	2,504,800
学校募金	211,944
団体・職域募金	749,706
募金箱、その他	141,323
合計	7,090,926



※令和5年度地域福祉活動費等で約83%が三木市社協に配分される予定

(担当課：法人運営課)

④地域歳末たすけあい配分事業の実施

地域歳末たすけあい運動の趣旨に基づき、理事会で配分審査（福祉施設配分）を行い、透明性を確保し、共同募金の原則により次の配分を行った。

- ア 施設等利用者に対する事業への配分、罹災見舞への配分への継続実施  
イ 配分事業、配分先についての検討

(配分実績)

(単位：円)

配分方法	配分先	配分金額
福祉施設配分	障がい者福祉施設 4施設	135,000
罹災見舞配分	火災見舞 2件	60,000
計		195,000

※福祉施設配分先

- ・特定非営利活動法人ざくろ
- ・特定非営利活動法人あすてる 地域活動支援センターみによんち
- ・特定非営利活動法人 三木市手をつなぐ育成会 生活介護 じゃがいもの家
- ・株式会社 NEXTSTEGE 放課後等デイサービス ウィズ・ユー三木

(担当課：法人運営課)

(3) 人材確保・育成に関すること

①人材確保・育成・管理

ア 職階別、職能別研修の実施

①階層別研修（実績）

第2次基盤計画に基づき、階層別の研修を実施した。

■新入社員（概ね3年未満の職員）

研修名	月日	会場	参加人数
令和4年度 県内社会福祉協議会新任職員研修	4/12～5/31	兵庫県福祉人材研修センター オンデマンド配信	5名
兵庫県内の新人社協職員が 集う交流会	3/10	西宮市総合福祉センター	3名

■主任級職員

研修名	月日	会場	参加人数
人が育ち、自分も伸びるリーダーシップ研修	9/21	オンライン研修	5名

■OJT 担当職員

研修名	月日	会場	参加人数
職場研修推進セミナー	7/1	オンライン研修	5名
OJT リーダー養成研修（実践編）	7/29～11/1	兵庫県福祉人材研修センター	5名

■監督職（係長級の職員）

研修名	月日	会場	参加人数
組織マネジメント基礎講座（8月開催分）	8/19～9/21	オンデマンド配信	9名

■管理職（課長級以上の職員）

研修名	月日	会場	参加人数
組織マネジメント基礎講座（8月開催分）	8/19～9/21	オンデマンド配信	2名
令和4年度 県内社会福祉協議会新任局長研修	4/12～5/31	兵庫県福祉人材研修センター オンデマンド配信	2名

②機能別研修（実績）

研修名	月日	会場	参加人数
令和4年度介護支援専門員 専門研修課程Ⅰ・更新研修A （前期）〔実務経験者〕	4/6～8/2	兵庫県福祉人材研修センター	1名
令和4年度介護支援専門員 専門研修課程Ⅰ・更新研修A （前期）〔専門Ⅰ〕	4/11～7/28	兵庫県福祉人材研修センター	1名
令和4年度介護支援専門員 専門研修課程Ⅰ・更新研修A （前期）〔専門Ⅰ〕	4/13～7/30	兵庫県福祉人材研修センター e-ラーニング（大塚事務所）	1名
はじめての人事給与事務研修	4/27	オンライン研修	1名
令和4年度倫理研修（ケアマネジメント業務に係る職業倫理）	4/30	Z o o m（オンライン研修）	1名

重点

基盤計画  
3- (2)

令和4年度第1回生涯研修課程コース研修『介護領域における装具の重要性と落とし穴～制度から臨床の実際まで～』	5/14	Z o o m (オンライン研修)	1名
令和4年度兵庫県認定調査員研修	5/19	オンライン研修	2名
令和4年度 日常生活自立支援事業新任専門員研修会	5/26	兵庫県福祉センター	2名
令和4年度主任介護支援専門員更新研修【オンライン型】Aコース	5/28～7/30	オンライン研修	1名
令和4年度福祉従事者新任職員研修(障害福祉)Bコース	6/1	兵庫県福祉人材研修センター	2名
令和4年度主任介護支援専門員研修【参集型】①コース	6/25～9/1	兵庫県立のじぎく会館大ホール	2名
介護事業『業務継続計画(BCP)』の策定方法	7/4	Z o o m (オンライン研修)	1名
令和4年度第1回職員研修会「認知症高齢者の食支援について」	7/7	小野市うるおい交流会エクラ	1名
普通救命講習I	7/9	三木消防署	5名
アセスメントプロセスに沿った事例検討会～7つの領域から利用者の”今”を紐解き、ニーズと目標を導き出す～参加について	7/10	兵庫県立のじぎく会館	1名
成年後見制度利用促進・総合的な権利擁護に係る地域巡回自治体セミナー	7/13	大阪合同庁舎第4号館	1名
令和4年度生活福祉資金貸付事業新任担当職員研修会	7/14	兵庫県福祉センター	1名
OJTリーダー養成研修(基礎編)	7/15	兵庫県福祉人材研修センター	1名
相談援助技術向上のために気づきの事例検討会を実施する理由	7/20	うるおい交流館エクラ	2名
令和4年度 思いを伝える、コミュニケーション基礎研修	7/22～8/19	兵庫県福祉人材研修センター	1名
医療的ケア 看護師 講習会	7/23	オンライン研修	1名
第45回てんかん基礎講座	7/27～8/15	オンライン研修	1名
相談面接技術研修基礎編Aコース	7/25～7/26	兵庫県福祉人材研修センター	3名
令和4年度介護支援専門員専門研修課程I・更新研修A〔実務経験者〕	7/26～3/3	eラーニング	1名

令和4年度地域包括支援センター職員向け困難事例対応力向上研修～様々な「困難」に対応できるチームを考えよう～	7/27	Z o o m (オンライン研修)	1名
兵庫県の現場から発信:在宅ケアの場における暴力の問題を考える～訪問診療医・訪問看護師・訪問介護員・ケアマネジャーの立場から～	7/28	Z o o m (オンライン研修)	3名
加古川市立加古川養護学校センター的機能研修会	8/1～9/30	オンライン研修	1名
令和4年度甲種防火管理新規講習	8/4～8/5	三木市消防本部	6名
令和4年度東播磨ブロック地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会記念講演会	8/4	Z o o m (オンライン研修)	2名
スノーブレン研修会	8/7	オンライン研修	3名
第33回兵庫県理学療法学会大会	8/21	洲本体育館	1名
マイクロソフト365導入セミナー	8/22	オンライン研修	1名
事例から学ぶ中小企業向けメンタルヘルス対策セミナー	8/23	オンライン研修	1名
令和4年度認知症研修会	9/10	小野市うるおい交流会エクラ	1名
令和4年度 意思決定支援と虐待防止に関する研修会	9/17～9/18	オンライン研修	1名
令和4年度介護支援専門員専門研修課程Ⅱ・更新研修A(後期)	10/3～2/17	兵庫県福祉人材研修センター eラーニング	3名
令和4年度兵庫県BCP/BCM支援プログラム	10/7～2/17	新長田合同庁舎	1名
第1回職員部会業務研修会 社協における会計のあり方	10/7	播磨町福祉しあわせセンター	4名
令和4年度介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	10/24～3/2	兵庫県福祉人材研修センター eラーニング	1名
令和4年度 日常生活自立支援事業 生活支援員研修会	10/24	兵庫県福祉センター	3名
利用者と介護者の身体を守る介護技術研修(移乗介助編)	10/25	総合リハビリテーションセンター 福祉のまちづくり研究所	2名
権利擁護支援体制づくりフォーラム 地域共生社会の実現と第二期計画の理解	11/4	神戸クリスタルタワー	2名
全国障害者リハビリテーション研修会2022	11/10～11/11	オンライン研修	1名
はじめて福祉の仕事に就く人のための研修(実践編)～	11/21	兵庫県福祉人材研修センター	4名



仕事の基本として押さえておきたいたいせつなこと～			
宝塚市地域福祉研修	11/25	宝塚市総合福祉センター	1名
2022年度第4回認知症介護実践研修(実践者研修)	11/30～3/14	オンライン研修(ZOOM)	2名
働き方改革関連法 令和4年度説明会	12/9	オンライン研修	2名
第2回職員部会業務研修会 東播磨ブロック協議会「接遇マナー研修」	12/16	多可町社会福祉協議会本部	2名
利用者と介護者の身体を守る介護技術研修(起居動作介助編)	1/11	総合リハビリテーションセンター 福祉のまちづくり研究所	1名
令和4年度主任介護支援専門員更新研修【オンライン型】Eコース	1/13～3/1	オンライン研修(ZOOM)	2名
労働契約等解説セミナー	1/26	オンライン研修	2名
兵庫県内社協職員交流研修	1/26～2/10	三田市社会福祉協議会	1名
令和4年度全国障害者訓練施設協議会主催研修会	1/31	オンライン研修	2名
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修	2/1～3/14	兵庫県立総合リハビリテーションセンター	1名
令和4年度多職種研修会	2/9	オンライン研修	2名
令和4年度福祉人材確保・定着力向上研修「学生・一般求職者を引きつける！パンフレット作成・施設見学対応のヒント」	2/9	オンライン研修	1名
令和4年度サービス提供責任者研修	2/9	オンライン研修	1名
障害者雇用納付金制度事務説明会	2/10	ウィズあかし	1名
洲本市社会福祉協議会視察研修	2/20	洲本市総合福祉会館	4名
第3回職員部会業務研修会 東播磨ブロック協議会「伝わる」でつながる広報講座	2/22	明石市立総合福祉センター	3名
インボイス制度セミナー	3/1	オンライン研修	1名
令和4年度権利擁護支援シンポジウム	3/3	オンライン研修	1名
介護保険制度と報酬改定への対策&デイサービス見学会	3/24～3/25	総合介護施設ありがとう	1名
<p>イ 人材育成に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・階層別の研修履歴の台帳整備に取り組んだ。</li> <li>・OJT担当者向けの研修に参加した職員で、人材育成について意見交換の場を設けた。</li> </ul>			

ウ 全体研修の実施 (実績)			
研修名	実施期間	会場	参加人数
交通安全研修	11月14日～11月28日	各所属事業所内で実施	243人
人権研修 「人を大切にする職場 ～ハラスメントのない職場を めざして～ 講師：三木市人権・同和教育協 議会	2月20日・2月21日	三木市立市民活動センター	207人
エ 人材の安定的確保 ハローワークへの職員募集や人材派遣会社等を活用し、人員確保を行った。			
オ 永年継続等表彰			
表彰名	受賞者数		
全国社会福祉協議会会長表彰	3名		
兵庫県知事表彰	4名(理事含む)		
兵庫県ヘルパー功労賞	4名		
兵庫県社会福祉協議会会長表彰	7名		
三木市社会福祉協議会永年勤続表彰	13名		
(担当課：法人運営課)			

(4) 広報・啓発に関すること

①「社協だより」の発行

<p style="text-align: center;"><b>重 点</b></p> <p>基盤計画 1-(3)</p>	地域福祉の推進が住民に伝わる内容を中心に掲載。	
	(実績)	
	発行回数 6回/年	
	発行部数平均 1回20,850部	
	令和4年 5月 243号	三木でつながるコピーフェスタ in 協同学苑の様子/令和4年度事業計画・収支予算
	令和4年 7月 244号	細川地域学校スプリングスクールの様子/令和3年度事業報告・収支決算/
	令和4年 9月 245号	マックスバリュ西日本株式会社とのフードバンク活動の様子/三木市高齢者ファミリーサポートセンターの紹介/赤い羽根共同募金の案内
	令和4年11月 246号	赤い羽根共同募金街頭募金の様子/赤い羽根共同募金配分事業「食糧支援をきっかけとしたつながりづくり支援」の紹介/みきボランティアフェスタ2022案内
令和5年 1月 247号	みきボランティアフェスタ2022の開催の様子/はばたきの丘「避難訓練」の紹介	
令和5年 3月 248号	三木市育児ファミリーサポートセンター交流会の様子/地域歳末たすけあい運動の紹介/赤い羽根共同募金報告	
※各号とも、ボランティア・講座・研修会等の案内/善意銀行預託報告/市民ふくし相談、成年後見相談を掲載。		
日刊紙未購読世帯については、希望に応じて郵送での対応を行った。(1件)		
(担当課：法人運営課)		

②職員の講習会等への派遣	
<p style="text-align: center;"><b>重 点</b></p> <p>基盤計画 1 - (3)</p>	<p>ア 社協職員の福祉専門職性を生かした各地域や市民活動団体・関係機関への福祉の勉強会、講習会等に対し職員を派遣</p> <p>イ 社協の取組等について説明するため職員を派遣            会員会費の依頼等、各区長協議会への参加の検討</p> <p>ウ 派遣方法の検討            情報発信ツール（SNS等）を活用した方法の検討</p> <p>（実績）            社協活動について、また各事業の説明、制度説明などで職員が地域や団体の会合、学校、関係機関へ説明に出向いた。</p> <p style="text-align: right;">（担当課：法人運営課）</p>
③社協活動の報告	
<p style="text-align: center;"><b>重 点</b></p> <p>基盤計画 1 - (3)</p>	<p>ア 本会への理解と協力を促進するため、社協活動をまとめた広報紙の発行</p> <p>イ 第4次地域福祉活動計画、事業計画、事業報告を各区長に配布し、本会への理解と協力を促進する。</p> <p>（実績）            発行について                8月1日 3, 500部発行</p> <p>    配布方法                全戸回覧、希望団体へ配布</p> <p style="text-align: right;">（担当課：法人運営課）</p>

## 2 地域福祉推進体制の充実・発展

### (1) 地域コミュニティ活動の推進

#### ①ふれあいサロン活動の支援

さまざまな要因で地域の中で閉じこもりがちな高齢者や障がいがある方々等の仲間づくりと、互いに気にかけて、支えあうコミュニティの基盤づくりとして一役を担うつどいの場（サロン）を自治会単位、または地区単位等での開設を推奨。

(実績)

ア ふれあいサロン登録更新案内 (3月7日)

イ サロン運営者研修の実施 (6月11日、6月25日)

同じ内容で2日間開催。28サロン44名が参加。基調提案「ふれあいサロンとは何か？なぜ推進するのか」、意見交換「ふれあいサロンで気にかける人、気かけ方、気かけ合う地域になるためには」の2部構成とした。

研修会に参加しなかったサロンボランティアにも研修内容を届けるため、研修会の様子を収めた動画のYouTube投稿および「サロンニュース」発行を行った。

ウ 本年度、新たに3地区で新規開設された(団体名/サロン名)。

- ・三木地区 (e n / なごみカフェ)
- ・別所地区 (わつなぎ / こんにちは輪)
- ・緑が丘地区 (西1丁目ふれあいサロングループ / 西1丁目ふれあいサロン)

エ 開設状況

地区	対象者別サロン数			
	高齢者	子育て	全住民	対象別
三木	11	1		
三木南	6			
別所	3			
志染	1			
細川	3	1		
口吉川	1			
緑が丘	8			
自由が丘	13	2	2	
青山	5			
吉川	12	2		
広域	8			1
小計	71	6	2	1
合計	80			

※「広域」とは、「障がい」や「認知症」といった方を主な対象者として広域エリアで開設するサロン

オ 開設・活動助成金・持続化助成金の交付状況

助成金種類	交付サロン数
集いの場開設準備助成金	3サロン
年間活動助成金	79サロン
活動持続化助成金	18サロン

※「活動持続化助成金」とは、感染予防対応により他の助成金・支援金の交付要件を満たさないサロンに対し、活動が持続できる支援として交付する助成金で、令和2年度から

重点

活動計画  
1-1-(2)

令和4年度まで実施。		
カ サロン参加者を対象とした傷害保険の加入		
共済・保険種類	加入件数	事故件数
ふれあいサロン・社協行事傷害補償	80件	0件
(担当課：ボランティア活動プラザみき)		

②気になるカードの取り組み推進

<b>重点</b>	<p>住民同士がお互いを気づかいあい、相手に関心をよせるきっかけをつくることを目的とし、気になる方や気になる世帯の状況や状態を「気になるカード」を使って区長、民生委員・児童委員、民生・協力委員、地域活動者と社協職員が共有し、課題等の解決に向けた対応を考える仕組みとして推進。</p>
活動計画 1-1-(3)	<p>(実績)</p> <p>ア 支えあい協働会議にて、三木南地区（7月22日）で取組を実施。自治会ごとに区長、民生委員・児童委員、民生・児童協力委員が気になる方の状況を共有した。</p> <p style="text-align: right;">(担当課：ボランティア活動プラザみき)</p>

③ふれあい会食会活動補助金事業

<p>ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等を対象に、不規則になりがちな食生活の改善と一緒に食事を摂ることで健康増進と仲間づくりをすすめる活動を支援。</p>		
(実績)		
申請グループ名	補助回数	参加者
ボランティア「集い」	8回	延べ106人
自由が丘ふれあい給食調理 Vほほえみの会	4回	158人
ア 事業目的を意識した活動のための5つのチェックポイント		
チェック項目	チェック数	
特に「お誘いしたい人（気になる人）」に参加してもらえようお声かけなどの工夫がありましたか？	4	
対象者が「お客様」にならないように、何かできる方には役割づくりを意識していますか。	10	
身体が不自由な方も参加しやすいように気をつけていますか？ ※会場内で快適に過ごせるように気にかける、家の近くまで出迎えるなど	0	
参加しなくなった人や回数が減った人を気にかける話をされていますか？ ※民生委員・児童委員さんや地域の役員さんと話すのも方法の1つです	6	
会食会をきっかけに、ご近所同士で顔見知りになれる関係づくりを意識して開催していますか	6	
合計	26	
イ 補助金申請書の自由記述欄には、対象者同士や対象者とボランティアが積極的に交流できたり、対象者にも役割を設ける等の工夫が見受けられる記載があった。		

	<p>(コメント抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様の笑顔とお元気な様子の確認ができたことを嬉しく思います。</li> <li>・本日は楽器演奏するグループに来て頂き、皆さんと共に歌うことができ良かったです。</li> <li>・対象者の方が季節の野菜を差し入れてくださり、それを利用して料理を作っています。</li> <li>・自分たちが座っているイスは片づけて帰ること。</li> </ul> <p>(担当課：ボランティア活動プラザみき)</p>
--	--

④地域活動車の貸し出し

	<p>自主的な地域活動や、ボランティア・市民活動を支援するため本会が保有する公用車を「地域活動車」として、各種団体等に貸し出した。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいサロン活動や、地域行事の参加者送迎が主たる貸出内容。</li> <li>・マイクロバスの利用は、昨年度より増加した。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">車種</th> <th colspan="2">貸し出し日数 (月平均)</th> </tr> <tr> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トラック</td> <td>29日 (2.4日)</td> <td>45日 (3.8日)</td> </tr> <tr> <td>7人乗りワゴン車</td> <td>30日 (2.5日)</td> <td>79日 (6.6日)</td> </tr> <tr> <td>10人乗りワゴン車</td> <td>29日 (2.4日)</td> <td>74日 (6.2日)</td> </tr> <tr> <td>キャリー軽トラ</td> <td>—</td> <td>10日 (0.8日)</td> </tr> <tr> <td>10人乗ハイエース</td> <td>—</td> <td>0日</td> </tr> <tr> <td>マイクロバス</td> <td>32日 (2.6日)</td> <td>74日 (6.1日)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">月平均算出方法：貸出日数／月数</p> <p>(担当課：法人運営課、ボランティア活動プラザみき、はばたきの丘)</p>	車種	貸し出し日数 (月平均)		令和3年度	令和4年度	トラック	29日 (2.4日)	45日 (3.8日)	7人乗りワゴン車	30日 (2.5日)	79日 (6.6日)	10人乗りワゴン車	29日 (2.4日)	74日 (6.2日)	キャリー軽トラ	—	10日 (0.8日)	10人乗ハイエース	—	0日	マイクロバス	32日 (2.6日)	74日 (6.1日)
車種	貸し出し日数 (月平均)																							
	令和3年度	令和4年度																						
トラック	29日 (2.4日)	45日 (3.8日)																						
7人乗りワゴン車	30日 (2.5日)	79日 (6.6日)																						
10人乗りワゴン車	29日 (2.4日)	74日 (6.2日)																						
キャリー軽トラ	—	10日 (0.8日)																						
10人乗ハイエース	—	0日																						
マイクロバス	32日 (2.6日)	74日 (6.1日)																						

⑤誰もが利用しやすい施設づくり

	<p>《デイサービスセンター》</p> <p>施設を拠点とした地域交流活動や地域で開催されるイベントに積極的に参加し、地域住民と施設利用者との交流に努めた。また、トレーニングマシンの一般開放や地域交流室をみっきい☆いきいき体操自主グループに貸し出し、地域住民の介護予防や健康づくりに努めた。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため施設利用を制限したため、利用者数等は大幅に減少した。</p> <p>(具体的な取組)</p> <p>ボランティア、地域住民との交流、トレーニングマシンの一般開放、地域交流室の有効活用など</p> <p>(実績) 令和4年4月1日～令和5年3月31日</p> <p>ア 地域住民の生きがいづくり (みっきい☆いきいき体操自主教室・トレーニングマシン一般利用など)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三木東</td> <td>みっきい☆いきいき体操自主教室 トレーニングマシン一般利用者</td> <td>960人</td> </tr> <tr> <td>三木南</td> <td>トレーニングマシン一般利用</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>三木北</td> <td>トレーニングマシン一般利用</td> <td>724人</td> </tr> <tr> <td>細川</td> <td>なし</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>口吉川</td> <td>口吉川公民館が地域交流室を管理</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>志 染</td> <td>みっきい☆いきいき体操自主教室</td> <td>240人</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	内容	参加者数	三木東	みっきい☆いきいき体操自主教室 トレーニングマシン一般利用者	960人	三木南	トレーニングマシン一般利用	3人	三木北	トレーニングマシン一般利用	724人	細川	なし	0	口吉川	口吉川公民館が地域交流室を管理	0	志 染	みっきい☆いきいき体操自主教室	240人
施設名	内容	参加者数																				
三木東	みっきい☆いきいき体操自主教室 トレーニングマシン一般利用者	960人																				
三木南	トレーニングマシン一般利用	3人																				
三木北	トレーニングマシン一般利用	724人																				
細川	なし	0																				
口吉川	口吉川公民館が地域交流室を管理	0																				
志 染	みっきい☆いきいき体操自主教室	240人																				

ひまわり	みつきい☆いきいき体操自主教室、 トレーニングマシン一般利用	1, 925人
自由が丘	みつきい☆いきいき体操自主教室	2, 460人
合計		6, 312人

イ ボランティア、地域住民との交流（散髪、書道など）

施設名	内容	参加者数
三木東	散髪、将棋、洗濯ボランティア等	301人
三木南	散髪、将棋ボランティア、善友会、 フラダンス等	65人
三木北	散髪ボランティア	190人
志 染	散髪、琴染会、見守りボランティア 等	135人
細 川	散髪、書道ボランティア、人形劇タ ケノコ (Zoom)	28人
口吉川	散髪、書道、同行、パン販売ボラン ティア	69人
ひまわり	ゆびあみ、フットケア、喫茶、園芸 ボランティア、	122人
自由が丘	散髪、お話相手ボランティア等	62人
合計		972人

ウ 地域住民との交流（老人会、小学校等との交流など）


施設名	内容	参加者数
三木東	老人会花植え、三木東高校実習等	61人
三木南	老人会花植え	18人
三木北	老人会花植え	12人
志 染	志染小交流会、老人会花植え	25人
細 川	三木中トライやるウィーク	1人
口吉川	焼き芋大会	1人
ひまわり	緑が丘小学校4年生交流会	59人
自由が丘	自由が丘中トライやるウィーク	3人
合計		180人

エ 地域交流室の有効活用

施設名	内容	参加者数
三木東	体操自主教室、健脚体操	1, 311人
三木南	なし	0人
三木北	なし	0人
細川	体操自主教室、ボランティア控室	250人
志 染	体操自主教室、ボランティア控室	97人
ひまわり	体操自主教室	2, 363人
自由が丘	体操自主教室、整体教室、民舞 主任ケアマネ連絡会、 あんサポ研修会、	3, 795人
合計		7, 816人

(担当課：地域生活支援課 各地域福祉センター)

	<p>《はばたきの丘》 はばたきの丘を拠点とした地域交流活動</p> <p>ア 開催行事 ・新型コロナウイルス感染症予防のため開催なし</p> <p>イ 障がい者及びその関係者に向けた地域交流室の利用促進 【利用実績】 ・失語症の会（BANBANしゃべろう会） ・クラブ活動 ・各種研修会 ▽利用者延べ人数：255人</p> <p>ウ 笑室（ショールーム）の利用促進 【利用実績】 ・新型コロナウイルス感染症予防のためコーヒーの無料提供は中止 ・利用希望者の面談、聞き取り ・利用者のカンファレンス 等 ▽利用者延べ人数：31人</p> <p>エ ボランティアの育成 【活動の場の提供】 ・創作プログラム ・作業 ・クラブ（フラ） ▽登録者数：26人・活動延べ人数：446人 月平均：37.1人</p> <p>オ 地域行事への参加 ・新型コロナウイルス感染症予防のため行事への参加は中止</p> <p>カ 情報発信 ・機関紙「はばたきTIMES」の発行（6月・9月・2月） ・ホームページの作成 ・ブログを作成し日々の活動を紹介</p> <p style="text-align: right;">（担当課：はばたきの丘）</p>
--	---

⑥地区福祉委員の設置 

	<p>地区のニーズに基づき「地区福祉委員」を設置し、地域における暮らし、生活での困りごとを抱える家庭の早期発見、必要な情報提供が行える体制の強化を図る。 課題等を共有する会議の開催を強化する。</p> <p>（実績）</p> <p>ア 地区福祉委員設置状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="padding: 2px;">吉川地区</td> <td style="padding: 2px;">95人</td> </tr> </table> <p>イ 吉川地区福祉委員連絡会 3回開催 ブロック会議 1回</p> <p>地区内での必要な情報提供が行えるよう研修や情報交換を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="padding: 2px;">開催日等</th> <th style="padding: 2px;">協議事項等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">7月14日</td> <td style="padding: 2px;">           研修会            「詐欺・悪徳商法被害について」            三木警察署 生活安全課 谷口氏            「吉川地区福祉委員活動に関するアンケート」実施         </td> </tr> </tbody> </table>	吉川地区	95人	開催日等	協議事項等	7月14日	研修会 「詐欺・悪徳商法被害について」 三木警察署 生活安全課 谷口氏 「吉川地区福祉委員活動に関するアンケート」実施
吉川地区	95人						
開催日等	協議事項等						
7月14日	研修会 「詐欺・悪徳商法被害について」 三木警察署 生活安全課 谷口氏 「吉川地区福祉委員活動に関するアンケート」実施						



	11月25日	研修会 「一瞬の判断と備え」 ～あなたは突発的な自然災害から避難できますか～ 「災害発生後の避難所で必要とされる人権への配慮」 防災センター 防災教育担当 田中健一氏
	3月5日	講演会 「おっと!ここはわたしの出番だ!～どうする見守り～」 あそびの工房 もくもく屋 田川雅規氏

(担当課：法人運営課)

(2) 地域支えあい体制づくり

①支えあい協働会議の推進

<p style="text-align: center;"><b>重 点</b></p> <p>活動計画 1-1-(1)</p>	<p>民生委員・児童委員、民生・児童協力委員、地域内活動者など、日常から住民の暮らし・生活の見守り等の取組を展開する活動者が活動を通して把握した個別の困りごとなどを共有し、みんなの問題として対応を話し合ったりする場づくりを支援。</p> <p>(実績)</p> <p>ア 自由が丘地区（4月20日 参加者数：54人） 第1部：基調講演「暮らし・生活部会の歴史について／あなたの明日を考えてみませんか」、第2部：意見交換の2部制で開催。 令和3年度に地区内の75歳以上を対象に行った「住民の外出状況把握のためのアンケート」調査結果を踏まえ、地域住民の移動や外出、その目的となる買い物・活動・他者との交流について考える機会となった。</p> <p>イ 細川地区（7月20日 参加者数：41人） 「災害時の初動体制と支えあいマップの確認」をテーマに、特に風水害時の迅速な避難、人命救助の必要性を共有し、要援護者の数や避難場所を確認した。集落ごとにマッピングした結果、災害時の要援護世帯数は前年度から減少しているが、避難時の声かけが必要な世帯は増加していた。今後、訓練を取り入れた研修会が必要だとの声もあがった。</p> <p>ウ 三木南地区（7月22日 参加者数：41人） 「災害時の要援護者と初動体制の確認」をテーマに、災害発生時の避難や要援護者を日頃から気にかけることの重要性について共有し、要援護者の自宅場所を確認した。昨年と比較し、施設入所等で地域から離れた世帯もあったが、避難支援が必要な世帯が増加していた。</p> <p style="text-align: right;">(担当課：ボランティア活動プラザみき)</p>
---	--

②地区支えあい活動計画づくりの推進

<p style="text-align: center;"><b>重 点</b></p> <p>活動計画 1-3-(1) 1-3-(2) 1-3-(3)</p>	<p>身近な暮らし・生活課題を話し合い、その解決に向けた取組を進めるための計画「地区支えあい活動計画」の策定を支援。</p> <p>(実績)</p> <p>策定地区なし 別所地区では来年度に計画策定を予定。そのための地域課題の抽出を行った。</p> <p style="text-align: right;">(担当課：ボランティア活動プラザみき)</p>
---	--

③支えあい活動エリアでの拠点づくり

<p style="text-align: center;"><b>重 点</b></p> <p>活動計画 1-2-(3)</p>	<p>住民がいつでも気軽に集まり、主体的に支えあい活動を進めることができるよう、支えあい協働会議において、さまざまな機能・役割をもつ身近な拠点づくりの検討を進める。</p> <p>(実績)</p> <p>ボランティア活動プラザみき運営委員会で協議中</p> <p style="text-align: right;">(担当課：ボランティア活動プラザみき)</p>
---	--

④生活支援コーディネーター配置《市受託事業》

生活支援コーディネーター4名を配置し、地域における住民の暮らしや生活のしづらさ、課題を住民がお互いに共有し、お互いに担い手として取り組む支えあいの体制づくりにむけた協議の場の設置や開催を支援する。

設置においては、各地区の市民協議会に「暮らし・生活部会」としての設置を提案し、市民協議会において協議する。

また、防災と地域福祉の観点からも、支えあう地域づくりについて協議、取組を進める。

(協議の場における協議推進の柱)

ア 暮らし、生活課題の共有

イ 地域ニーズ、既存の地域資源の把握、情報の見える・伝わる化の推進

ウ 地域支え合い活動の開発、担い手育成、評価

エ 地域福祉を推進する企画、方策などの立案

(実績)

協議の場(暮らし・生活部会)設置地区

《三木南地区》

1. 支えあいの体制づくりに向けた協議の場

(1) 暮らし・生活部会の開催

重点  
活動計画  
3-1-(2)  
3-1-(3)

回	開催日	内容
1	6月6日	【協議事項】 ○正副部会長の選出について ○部会の役割と前年度活動の振り返り ○今年度の重点活動について
2	7月11日	【協議事項】 ○支えあい協働会議の開催について ○地域交通の検討 ○地域の居場所・魅力の情報発信 ○子ども主体の取組の検討
3	8月17日	【協議事項】 ○支えあい協働会後の振り返り ○認知症予防プログラムの啓発について ○地域ふれあいバスの検討 ・広野エリアの道路状況の確認 ○地域の魅力の情報発信・子ども主体の取組について ・動画を用いた情報発信のあり方の検討
4	9月28日	【協議事項】 ○認知症予防プログラムについて ○地域ふれあいバスの検討 ・広野エリアの停留所候補地の検討 ○地域の魅力の情報発信・子ども主体の取組について ・子ども主催のイベント開催について
5	10月26日	【協議事項】 ○認知症予防プログラムの進捗状況 ○地域ふれあいバスの検討 ・広野エリアの時刻表検討のためアンケートを実施する ○地域の魅力の情報発信・子ども主体の取組について ・子ども主催の縁日イベントを企画する
6	12月14日	【協議事項】 ○認知症予防プログラムの終了報告 ○地域ふれあいバスの検討 ・小林・城山・南ヶ丘・小林桜ヶ丘の運行ルートについての

		検討へ ○地域の魅力の情報発信・子ども主体の取組について ・子ども主催のイベントを来年8月開催とする
7	2月15日	<b>【協議事項】</b> ○地域ふれあいバスの検討 ・小林・南が丘・桜ヶ丘・城山エリアバス停候補地絞り込みと車両侵入可能な道路の確認 ○地域の魅力の情報発信・子ども主体の取組について ○今年度のふり返りと来年度の取組について ・認知症予防プログラムの継続開催 ・地域ふれあいバスの実証実験 ・子どもが主体となる取組の検討

(委員構成)

区長協議会、民生委員・児童委員協議会、主任児童委員、老人クラブ連合会、広野小学校PTA、子ども会、地域福祉センター三木東、ときわ病院、金曜コグニ会、三木南交流センター

(2) 支えあい協働会議（7月22日）

参加者	41名
内容	災害時要援護者の情報共有と初動体制の確認 ・要援護世帯数 A 14世帯、B 48世帯、C 138世帯 A ねたきりの方など、避難時に数名での支援が必要な方がいる世帯 B 単独で避難しにくい高齢者、障がい者、妊産婦、子ども等で2名以内の支援者が必要な方がいる世帯 C 自分で避難できるが、危険を知らせる声掛けが必要な方がいる世帯 ・参加者それぞれが把握している地域の中で暮らしぶりが気になる方、生活課題を抱えておられる方を気になるカードを使って洗い出し、地図上に色分けすると共に参加者同士で共有を行えた。

2. 支えあいの体制づくりに向けた取組

(1) 認知症予防プログラム

参加人数	12人
------	-----

《細川地区》

1. 支えあいの体制づくりに向けた協議の場

(1) 暮らし・生活部会の開催

回	開催日	内容
1	5月24日	<b>【協議事項】</b> ○「支えあい協働会議」の開催について ○「買い物バス体験会」について
2	6月29日	<b>【協議事項】</b> ○「支えあい協働会議」について ○「買い物バス体験会」の開催について ○バスターミナルについて
3	8月26日	<b>【報告事項】</b> ○支えあい協働会議について ○買い物バス体験会について <b>【協議事項】</b> ○地域住民が望む移動手段について
4	9月29日	<b>【報告事項】</b> ○買い物バス体験会について

		<b>【協議事項】</b> ○「番外編」買い物バス体験会について ○暮らしやすい町づくりにむけた住民アンケート実施状況について
5	11月25日	<b>【報告事項】</b> ○「番外編」買い物バス体験会について ○細川地域学校実施状況について <b>【協議事項】</b> ○暮らしやすい町づくりにむけた住民アンケート実施状況について
6	2月27日	<b>【報告事項】</b> ○「買い物バス体験会」「よかたん温泉、山田錦の館へ行きますか！」について ○暮らしやすい町づくりに向けた住民アンケート集計結果について <b>【協議事項】</b> ○住民アンケートを踏まえ、これからのまちづくりについて ○今年度のふり返りと来年度の取組について

(委員構成)

区長協議会、民生委員・児童委員協議会、主任児童委員、老人クラブ連合会、細川町婦人会、細川ふれあいバス、三木警察細川駐在所、移送ボランティア榎陽、地域福祉センター細川、JA兵庫みらい、なごみ会、細川町公民館

(2) 支えあい協働会議

参加者	41名
内容	災害時の初動体制、支えあいマップの確認 ・要援護世帯数 A 15世帯、B 59世帯、C 119世帯 A ねたきりの方など、避難時に数名での支援が必要な方がいる世帯 B 単独で避難しにくい高齢者、障がい者、妊産婦、子ども等で2名以内の支援者が必要な方がいる世帯 C 自分で避難できるが、危険を知らせる声掛けが必要な方がいる世帯 ・集落毎にマッピングした結果、昨年と比べると、B世帯数が多くなり、単独で避難しにくい高齢者の把握が重要で、そのためにも、地域で避難訓練の取組が必要との声が上がった。

2. 支えあいの体制づくりに向けた取組

(1) 暮らしやすい町づくりにむけた住民アンケートの実施

調査対象：細川町に住民票のある18歳以上の方

調査期間：令和4年11月13日～12月20日

配布回収：区長協力

回収率：94%

(2) 情報が伝わる仕組みづくり「情報が伝わる体験会～神姫バスに乗ってイオンで買い物体験～」の実施

実績				
月	日(曜日)、行き先	参加者	ポスター	計
8月	9日(火) イオン三木店	なし	なし	なし
	12日(金) イオン三木店	なし	なし	なし
9月	9日(火) マックス恵比須店	なし	なし	なし
	13日(金) マックス恵比須店	2人	2人	4人
10月	11日(火) イオン三木店	なし	なし	なし
	14日(金) イオン三木店	なし	なし	なし

11月	8日(火) マックス恵比須店	なし	なし	なし
	11日(金) マックス恵比須店	なし	なし	なし
12月	9日(火) イオン三木店	5人	3人	8人
	13日(金) イオン三木店	2人	2人	4人
1月	10日(火) マックス恵比須店	なし	なし	なし
	13日(金) マックス恵比須店	2人	2人	4人
2月	10日(金) イオン三木店	2人	1人	3人
	14日(火) イオン三木店	4人	2人	6人
3月	10日(金) マックス恵比須店	0人	0人	0人
	14日(火) マックス恵比須店	0人	0人	0人
計		17人	12人	29人

(3) 情報が伝わる仕組みづくり「番外編バス体験会～よかたん温泉、山田錦の館へ行きませんか!～」の実施

実績				
月	日(曜日)、行き先	参加者	ポーター	計
11月	16日(水) よかたん温泉、山田錦の館	5人	3人	8人
	29日(火) よかたん温泉、山田錦の館	3人	2人	5人
計		8人	5人	13人

(4) 人と人がつながり、自分も地域も元気な暮らしがある細川を目指して、地域づくりや社会参加をする人づくりを進める細川地域学校を開校。

ア 運営委員会関係

回	開催日	内容
1	4月6日	【協議事項】 ○動画編集サポートチームの取組状況について ○ICTチームの取組状況について ○スプリングスクールの講座について
2	5月9日	スプリングスクールの振り返り 【協議事項】 ○スプリングスクール後の各講座の動きについて ○サマースクールについて
3	6月8日	【協議事項】 ○サマースクールについて ○運営資金について
4	7月12日	【協議事項】 ○サマースクールについて ○星陽中利活用を話し合う場について
5	8月6日	【協議事項】 ○利活用で目指すところから実現のための課題について話し合う (参加者17名)
6	8月24日	【協議事項】 ○星陽中利活用を話し合う場について ○サマースクールについて
7	9月3日	サマースクールの振り返り 【協議事項】 ○オータムスクールについて ○地域学校運営について
8	9月8日	【協議事項】 ○オータムスクールについて
9	10月5日	○講座の卒業生が集い活動する地域学校部活動の動きにつ

		いて（ひよこの会、ほそかわ花糍倶楽部） 【協議事項】 オータムスクールについて
10	11月7日	オータムスクールの振り返り 【協議事項】 ○ウィンタースクールの開催について
11	12月5日	オータムスクールの振り返り 【協議事項】 ○ウィンタースクールについて ○地域学校運営・次年度の委員選出について
12	2月6日	【協議事項】 ○スタッフウェア（ビブス）デザインについて ○令和5年度地域学校運営体制（案）について
13	3月13日	【協議事項】 ○令和5年度地域学校運営体制について

#### イ 細川地区キャラクターの開発

スプリングスクールを初回講座とし、3回シリーズで開催した「お絵描きしたいこども達、集まれ〜」では、藤原惺窩をモチーフにした細川地区のキャラクターが受講生のこども達で開発された。

#### ウ 地域学校部活動の発足

講座の受講生が集い、これからも継続的に講座で学んだ事柄をこれからも学び続け、公益的で創造的な活動についても検討する場が誕生した。

グループ名	目的	メンバー
ひよこの会	スマホを楽しみながら、分からないことを教え合いながらみんなで解決する	4名
ほそかわ花糍倶楽部	山田錦のお米を使った麴でまちおこし。麴について学び、楽しむ	12名

#### エ ほそかわ情報局

昨年度に開催された「スマホ1つでできる動画作成・動画編集講座」の受講生5名が情報局員として活動し、「スプリングスクール」「サマースクール」計2本の動画作成を行った。動画はスクールの様子が分かるものとなっている。

#### 《自由が丘地区》

##### 1. 支えあいの体制づくりに向けた協議の場

##### (1) 合同3部会、暮らし・生活部会の開催

回	開催日	内容
1	6月8日	【協議事項】 ○市民協議会の進め方について ○各地区・組織代表から収集した地域課題の対応について
2	8月23日	【協議事項】 ○部会長、副部会長、書記の選任 ○市政懇談会への提言テーマと今年度の取組内容について
3	9月6日	【協議事項】 ○市政懇談会への提言テーマについて ・ヤングケアラーについて ・救急搬送された要援護者の帰宅相談窓口について
4	9月16日	【協議事項】 ○市政懇談会への提言テーマについて

		・提言テーマの実態把握と行政への要望について
5	11月14日	【協議事項】 ○市政懇談会に向けての対応策確認
6	2月8日	○市政懇談会で提言された課題についての今後の進め方について ○自由が丘交通資源マップづくりについて

(委員構成)

区長協議会、民生委員・児童委員協議会、老人クラブ連合会、区長協議会OB会、スポーツクラブ自由が丘西、中学校PTA、地域福祉センター自由が丘、ボランティア活動プラザみき

(2) 支えあい協働会議（4月20日）

参加者	54名
内容	「住民の外出状況把握のためのアンケート結果」をもとに、高齢者の移動について考える ・第1部：基調講演 「暮らし・生活部会の今までの歩みについて／あなたの明日を考えてみませんか」 ・第2部：意見交換

《別所地区》

1. 支えあいの体制づくりに向けた協議の場

(1) 暮らし・生活部会の開催

回	開催日	内容
1	6月17日	【協議事項】 ○部会の役割と前年度の事業内容について ○令和4年度の事業計画について
2	7月26日	【協議事項】 ○クリーンキャンペーンについて ○地域ふれあいバスと時刻表の活用状況について ○別所地区の地域課題について
3	9月16日	【協議事項】 ○地域ふれあいバスの活用について ・バス停表示の設置について ○別所地区の地域課題について ・暮らしに必要な情報の共有 ・住民のつながり ・健康づくり、環境整備 ・子育てしやすい地域づくり
4	11月22日	【協議事項】 ○クリーンキャンペーンについて ○地域ふれあいバスの活用について ・バス停表示の設置について ○別所地区の地域課題について
5	2月13日	【協議事項】 ○地域ふれあいバスの活用について ○別所地域の課題について ・住民の利便性について ・人口減少問題について ○今年のふり返りと来年度の引き継ぎ事項について

(委員構成)

区長協議会、民生委員・児童委員協議会、老人クラブ連合会、

女性部、子ども会連絡協議会、中学校、中学校PTA、社会教育推進部会、保健衛生推進協議会、別所ふれあいバス運行推進協議会、さとの会

《口吉川地区》

(1) 暮らし・生活部会の開催

回	開催日	内容
1	6月9日	<b>【協議事項】</b> ○移動販売車の利用者拡大に向けての取組 ○移動販売車の夏場の販売方法等について ○買いもん行こカーの利用拡大に向けての取組 ○ふれあいバス運転手の確保について ○ふれあいバス運行計画の拡大について ○交通等生活上の問題点の検討 ○高齢者宅友愛訪問について ○住みよい・住みたいまちづくりを目指しての検討
2	8月31日	<b>【協議事項】</b> ○移動販売車、買いもん行こカーの利用者アンケートの取組 ・アンケート原案の検討 ○口吉川小学校児童の「移動販売車」利用体験の取組
3	10月13日	<b>【協議事項】</b> ○口吉川小学校児童の「移動販売車」利用体験の取組 ・10月17日実施予定 ○「買いもん行こカー」の利用者アンケートの取組 ・アンケート原案の検討 ○ふれあいバスの運行経路拡大について ・町外の店舗まで運行経路の要望
4	12月8日	<b>【協議事項】</b> ○「お買い物DAY」の取組 ・子ども会主催、ふれあいまちづくり協議会協賛として開催。子どもの買い物体験と、買い物を通しての多世代交流を促進する。 ○「暮らしやすい町づくりに向けた住民アンケート」の取組 ・アンケート原案の検討 ・75歳以上を対象に、3月の友愛訪問の機会を活用して実施する。
5	2月9日	<b>【報告事項】</b> ○「お買い物DAY」の取組み結果について ○高齢者友愛訪問の実施について ○口吉川ふれあいバスの地域外運行啓発チラシについて <b>【協議事項】</b> ○「暮らしやすい町づくりに向けた住民アンケート」の取組について ・4月より区長協議会での配布とする ○今年度のふり返りと次年度の引き継ぎ事項について

(委員構成)

区長協議会、民生委員・児童委員協議会、子ども会育成会、老人クラブ、更生保護女性会、公民館運営審議会、口吉川小学校PTA、J A兵庫みらい豊地支店、地域福祉センター口吉川、ふれあいバス協議会、ふれあいサロン運営ボランティア

《緑が丘地区》

1. 支えあいの体制づくりにむけた協議の場

(1) 暮らし・生活部会の開催



回	開催日	内容
1	11月27日	<b>【協議事項】</b> ○取組の経過報告 ○介護予防講習会、認知症講習会の日程確認 ○地域住民の孤立・孤独および孤独死の防止活動について ○企画の見直しについて ・今後の暮らし部会の取組についての意見交換
2	1月15日	<b>【報告事項】</b> ○各講習会の参加状況について ○地域住民の孤立・孤独及び孤独死の防止活動について <b>【協議事項】</b> ○暮らし生活部会企画見直しについて ・部会長が作成した案とこれまでの協議内容を入れ込んだ協議シートを作成する。
3	3月19日	<b>【報告事項】</b> ○令和4年度報告事項の確認について <b>【協議事項】</b> ○令和5年度への引き継ぎ事項について

(委員構成)  
各自治会、民生委員・児童委員協議会、老人クラブ、緑が丘ハートケア、緑が丘ボランティアセンター

イ 協議の場体制整備地区  
《志染地区》  
(1) 外出支援の検討支援

回	開催日	内容
1	8月24日	<b>【報告・協議事項】</b> ○地域公共交通について ・公共交通に関する意見交換
2	10月26日	<b>【報告・協議事項】</b> ○地域ふれあいバスについて ・細川ふれあいバスの取組について ・地域ふれあいバスに関する質疑応答 ・利用者への聞き取り結果の共有
3	12月19日	○デマンド型交通について ・三木市交通政策課からの説明 ・意見交換
4	1月30日	<b>【協議事項】</b> ○デマンド型交通について

(担当課：ボランティア活動プラザみき)

(3) ボランティア活動相談・支援

①市民ボランティアコーディネーターの養成・配置

自分自身もボランティア・市民活動を行いながら、同じボランティアの立場で自らの経験を生かし、市民のボランティア活動への参加・参画の相談やボランティアコーディネートを行った。

(活動方針)

- ア 三木を元気にする宝物★市民の力を見つけていく。
- イ 三木市民が元気であり続けることを応援する。  
人財・組織・活動 or サービス・道具・情報源・文化風土・拠点等  
[取り組み] なめらかフェ 拠点運営支援
- ウ 三木市内のボランティア活動を必要とする人の話を聴く。

(担当課：ボランティア活動プラザみき)

②マッチング・相談支援

ボランティア・市民活動を求めている人とボランティア・市民活動を結びつけたり、他団体とのコーディネート、情報提供等を行う。

《具体的な取り組み》

- マッチング・相談支援窓口
- ボランティア・市民活動者の活動展開プログラムへの人的、資金調達、資機材貸出等のための相談支援

(実績)

- ア マッチング (ボランティアとボランティアを求める調整件数)  
(件)

区 分		調整件数
在宅	高齢者	30
	在宅障がい者	542
	在宅その他	213
施設		7
病院		0
行政機関		3
地域		68
市民活動団体		5
当事者団体		1
学校		4
居宅介護事業所		0
その他		16
合 計		889
調整に要した日数/時間		74日0時間10分

- イ ボランティア・市民活動者の活動展開プログラムへの人的、資金調達、資機材貸出等のための相談支援件数  
(件)

	活動希望 相談	人材に関す る相談	資機材に関 する相談	資金に関 する相談	組織運営に関 する相談	NPO法人設 立に関する相 談
一般市民	44	785	0	0	0	0
市民活動者	0	5	729	202	145	0
施設・病院	0	7	3	0	0	0
居宅介護事業所	0	0	0	0	0	0
行政機関	0	3	4	0	0	0

地域	0	68	94	0	0	0
当事者団体	0	1	27	0	0	0
学校	0	0	4	0	0	0
企業等	0	0	9	0	0	0
その他	0	0	30	0	0	0
合計	44	869	900	202	145	0

ウ 新規団体の立ち上げ支援と活動を開始するにあたって必要な相談支援を行った。

団体名：ボランティアぬくもりの手

活動内容：子どもの健全育成と多世代交流を目的とした居場所「べっしょなかよし食堂」の開設・運営

(担当課：ボランティア活動プラザみき)

### ③ボランティア共済・保険の加入促進

活動中の事故に備えて共済・保険の加入を促進。

ア 取扱い共済・保険

※ボランティアを補償する共済・保険

※ボランティアグループ等が主催する各種行事における様々な事故に対する備え

※ボランティアグループ等が行う移送・送迎においてその利用者の移送・送迎中の傷害事故に対する備え

(実績)

共済・保険種類	加入者数	事故件数	
		傷害	賠償
全国ボランティア活動保険	1,984人	2	1
兵庫県ボランティア・市民活動災害共済	1,661人	4	0

共済・保険種類	加入件数	事故件数	
		傷害	賠償
全国ボランティア行事用保険	42件	1	0
兵庫県ボランティア活動等行事用保険	5件	0	0

(担当課：ボランティア活動プラザみき)

### ④活動資金づくり支援

ボランティア・市民活動団体の活動資金を得る機会と、各種助成金の啓発・申請支援を行う。

《具体的な取り組み》

ア ひょうごボランティア基金県民ボランティア活動助成金の受付

イ マガジンで民間助成金の情報提供

(実績)

ア ひょうごボランティア基金県民ボランティア活動助成金のエントリー数 87団体

イ 大阪ガスグループ福祉財団「高齢者福祉助成」の推薦 1団体


(担当課：ボランティア活動プラザみき)

### ⑤みき善意銀行事業

社会福祉に参加したい、貢献したいという善意を生かすため、「人材・物品・金銭」を需給調整し、必要としている人につなぐ仕組みとして広がった善意銀行を再構築し、ボランティア・市民活動団体やNPO法人等が主体的に寄付者となる多くの市民に自らの活動に共感や賛同を得ながら寄付を募る新たな仕組み「ボランティア・市民活動応援共感ファンド」を組み入れたみき善意銀行事業を展開。

《具体的な取り組み》

ボランティア・市民活動応援共感ファンド

	<p>一人でも多くの市民に活動背景や目的を含めて知っていただきながら共感を得ることで、豊かな活動展開を実現するための寄付を募る仕組み。</p> <p>この仕組みを通じて、一人ひとりの共感が地域に広がり、地域福祉活動への参画につながるよう現代にあった寄付意識の醸成を図る。</p> <p>(実績)</p> <p>第4期共感ファンドに応募のあった2団体のうち1団体を審査会で寄付金募集团体として決定。寄付金募集を行った結果、目標金額は達成できなかったが、最低目標額を上回る寄付を募った。</p> <p>団体： みきジュニア防災クラブ</p> <p>(担当課： 法人運営課、ボランティア活動プラザみき)</p>
<p>⑥ボランティア活動の拠点整備 </p>	
	<p>拠点、資源調達の相談・アドバイスをを行う。また、市民活動センターの運営を通じ、ボランティア・市民活動者が効果的に活動展開できるよう基盤整備に努めながら、ボランティア活動の価値を高め、社会的な環境整備を進める。</p> <p>《具体的な取り組み》</p> <p>ア 利用しやすい市民活動センターを目指し、市民による施設サポーターの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームSR：音響ボランティア</li> <li>・チームICT：パソコンのメンテナンスとパソコン使用のサポート</li> </ul> <p>イ ボランティア・市民活動情報ひろば（大型掲示板）の設置</p> <p>ウ 三木市立市民活動センターブログにて休館日等の情報を発信</p> <p>エ ボランティア・市民活動に必要な資機材等の整備と貸出</p> <p>オ ボランティア・市民活動のイベントに関する情報発信や参加者申込受付</p> <p>(実績)</p> <p>ア 市民参加による施設サポーターの活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音響ボランティア 活動実績：6件</li> <li>・パソコン相談 活動実績：71件</li> </ul> <p>イ 大型展示パネルの活用</p> <p>ボランティア・市民活動団体の情報チラシ等を掲示</p> <p>ウ 三木市立市民活動センターのブログ運営</p> <p>ブログを活用し、施設設備等の詳細内容を提供</p> <p>エ ボランティア・市民活動団体のイベント・催し情報発信支援</p> <p>Facebook「e-まちネット@みき」での発信</p> <p>(担当課： ボランティア活動プラザみき)</p>
<p>⑦ボランティア・市民活動団体との協働会議</p>	
	<p>異なる組織文化をもつ多様な主体が連携・協働し、相乗効果をあげるためには、お互いの存在を認めあい、協議・協働を進める場が必要であることから、「協働が進む、広がる」をテーマとした会議を開催。共通目的をもつ主体が推進主体となって、目標を設定し、具体的な推進内容を計画化して達成する機会や活動を推進する。</p> <p><b>協働会議の特徴</b></p> <p>ア イコールパートナーシップ制（対等な関係で行う協力や提供）</p> <p>イ ビジョン、方向性、情報の共有ができる。</p> <p>ウ 主張止まりの話し合いではなく、妥協や合意形成を図りながら課題の解決を実現可能なものにする。</p> <p>エ 合意形成する段階から実行の段階までのプロセスも各セクター（部門や部署）で互いに進行管理することで平等な立場で目的達成をめざす。</p>

	<p>(実績)</p> <p>○三木市不登校・引きこもり支援ネットワーク「ほっぷ☆すてっぷ」          学校に行きづらいお子様、ひきこもりがちな方やその親の相談、居場所や体験の機会づくりを活動や事業として取り組む当事者団体、ボランティア・市民活動団体、事業所、行政、社協でつくる協働ネットワーク。          今年度は、本人や家族が支援に関わる多様な主体との出会う機会、本人の周りにいる人たちが、本人との関わりを改めて振り返る機会、不登校・ひきこもり経験のある本人や家族の話を聞くことで、いつか乗り越えられるという希望が本人や家族に持てるような機会となるよう「不登校・ひきこもりを考える集い」を開催した。</p> <p>「不登校・ひきこもりを考える集い」の実施          日 時：令和5年1月22日（日）13：00～15：30          会 場：三木市立市民活動センター          主 催：三木市不登校・ひきこもり支援ネットワークほっぷ☆すてっぷ          三木市社会福祉協議会          内 容：1部 不登校・ひきこもり体験談登壇者によるトークセッション          2部 小グループでの意見交換          3部 全体共有とまとめ          参加者：54名</p> <p>○市内セルフヘルプグループディレクター「つながりハンドブック」の活用を検証          病気、障がい、依存など悩みや生きづらさがある本人や家族が同じような状況の人・家族の出会い、互いに支援しあうきっかけづくりの冊子「つながりハンドブック～セルフヘルプグループ活動情報集～」の活用状況の検証をセルフヘルプグループ、福祉施設等の関係機関でアンケート調査やヒアリングを用いながら行った。          主な配布先となった福祉専門職や関連する三木市の各課からは、それぞれのセルフヘルプグループの実態や活動がよくわからないため紹介しづらいという意見が寄せられた。しかし、さまざまな理由で今までとは違う暮らしぶりになったご本人やご家族にとって同じような状態の方がどのように生活しているのか、困りごとをどのように解決しているのかなどの情報交換先として地域やセルフヘルプグループを頼りどころとしているなどの意見がある。          一人でも多くのご本人やご家族の社会参加につながる活用にむけての取り組みが必要と考え、引き続き協議を継続する。</p> <p>アンケート調査：令和4年10月19日～12月3日          会議：令和5年1月26日、3月2日</p> <p>○災害時の備えと構え「本人・家族・地域で何が必要？何ができる？」を考える集い          障がいのある方とその家族、地域防災リーダー等の活動者、福祉施設等の関係機関が集い、障がいのある方の災害時対応を入り口に、平常時からの取り組みについて会議を開催。ご本人やご家族と避難経路や避難所の確認を兼ねたまち歩き等を実施し、ご本人やご家族の思いを反映した災害時個別避難支援計画を作成。          今後は、自主防災組織をはじめとする地域住民と計画を共有し、訓練を実施していく。          会議：令和4年7月19日、8月30日、9月27日、12月20日          令和5年2月21日          (担当課：ボランティア活動プラザみき、はばたきの丘)</p>
--	--

(4) ボランティア・フィールドワークの推進

①アクティブシニア倶楽部	シニア世代のボランティア活動への参加・参画に向けた支援を進め、活動の価値に気づき、主体的に地域づくりに取り組む人づくりをめざす。 《具体的な取組》
--------------	--


	<p>ア 互いの活動が豊かになる情報交換  イ 共通の課題解決に向けた学び  ウ 活動を求めている先に活動が届く企画と実践  エ アクティブシニア創出に向けた講座の企画と講師  (実績)  アクティブシニア倶楽部には「ふるさと再生」「三木四季あそび応援団」「みっきい★エエコ★クラブ」「アクティブ美輝」の4団体が参画し、それぞれの活動状況の共有をはじめ、新たなアクティブシニア創出に向けた協議を目的に、倶楽部定例会議を開催。  (担当課：ボランティア活動プラザみき)</p>
--	---

(5) ボランティア活動者同士の連携・協働の推進

①みきボランティアフェスタの開催

	<p>さまざまなボランティア・市民活動団体が一堂に会し、さまざまなボランティア・市民活動体験ができる場を設ける。また、団体同士が互いにつながりあうことで新たな社会課題や生活課題を解決していく市民力や地域力が高められていくことをめざす。</p> <p>(実績)  開催日 11月20日(日)  来場者数 延べ1,235人  YouTube・リモート数 延べ65人  合計 延べ1,300人  *事前PR動画配信(YouTube) 延べ137人  [内訳]  ・まちづくりの集い  会場参加 78人 YouTube視聴 8人  ・「ほっとけない！」地域づくりを考える集い  会場参加 109人 リモート(Zoom)参加 4人  YouTube視聴 21人  ・情報ひろば YouTube動画配信 1団体  活動紹介パネルの作成 25団体  市民協議会・市民活動支援金事業該当団体紹介  パネル展示 40団体  ・体験ひろば 出展団体 17団体  体験者数 延べ1,048人  (担当課：ボランティア活動プラザみき)</p>
--	---

(6) 活動おこしのための機会づくり

①各種ボランティア・市民活動講座・研修事業 

	<p>市民による多様なボランティア・市民活動が豊かに展開されるための講座・研修を企画。</p> <p>ア 既存のボランティア・市民活動団体と協働で実施する各種ボランティア・市民活動講座の実施</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>聞き上手ボランティア講座</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>音楽療法ボランティア入門講座</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>要約筆記ボランティア入門講座</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>伴走・伴歩ボランティア養成講座</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 「はじめてのzoom体験会」の開催  みきボランティアフェスタ等の大会を行うに際し、zoomを導入することから、zoomの普及を目的に学びの場を開催した。  ・開催回数 7回</p>	講座名	参加者数	聞き上手ボランティア講座	17人	音楽療法ボランティア入門講座	22人	要約筆記ボランティア入門講座	1人	伴走・伴歩ボランティア養成講座	1人
講座名	参加者数										
聞き上手ボランティア講座	17人										
音楽療法ボランティア入門講座	22人										
要約筆記ボランティア入門講座	1人										
伴走・伴歩ボランティア養成講座	1人										

	・参加人数 13名												
	ウ 細川町豊かな町づくり推進協議会と細川町公民館と協働で細川地域学校を実施												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>スクール名・内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月24日</td> <td>スプリングスクール</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td>8月28日</td> <td>サマースクール</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>11月12日</td> <td>オータムスクール</td> <td>36人</td> </tr> </tbody> </table>	日	スクール名・内容	参加者	4月24日	スプリングスクール	69人	8月28日	サマースクール	42人	11月12日	オータムスクール	36人
	日	スクール名・内容	参加者										
	4月24日	スプリングスクール	69人										
8月28日	サマースクール	42人											
11月12日	オータムスクール	36人											
(担当課：ボランティア活動プラザみき)													

(7) ボランティア活動顕彰

①みきボランティア活動賞	
	<p>先駆的、先導的にボランティア活動を継続し、その功績が顕著で他の模範となるものを表彰。</p> <p>(実績)</p> <p>贈呈式：令和4年11月20日(日)</p> <p>表彰団体：移送ボランティアグループ惺陽 送迎ボランティアグループ「緑が丘ハートケア」 三木まちの助産師の会</p> <p>(担当課：ボランティア活動プラザみき)</p>
②みきボランティア活動記章贈呈顕彰	
	<p>社会の福祉を増進すると共に明るい豊かな地域社会づくりのために取り組まれている善行活動者を顕彰し、今後も一層の活動が期待できる者に記章を贈呈。</p> <p>(実績)</p> <p>5～6月に記章贈呈者募集。7月に郵送にて記章を贈呈。</p> <p>金章 10人 銀章 5人 銅章 12人</p> <p>(担当課：ボランティア活動プラザみき)</p>

(8) 防災と地域福祉の連携

①災害ボランティア活動の理解と参加促進	
	<p>ボランティアバスを仕立てるなど、災害ボランティア活動への参加・行動への支援を行う。</p> <p>(実績)</p> <p>ア LINE公式アカウントリッチメニューの活用 LINE公式アカウントのトーク画面にユーザーが訪れた際、画面下部に大きく開くメニューを災害支援関連内容とし、タイムリー且つ、積極的な災害支援情報の収集発信に取り組んだ。</p> <p>イ 被災地支援 なし</p> <p>(担当課：ボランティア活動プラザみき)</p>
②災害時にも強い地域づくり体制の構築支援	
	<p>地域防災訓練・学習の場を通じ、地域における助け合い・支えあい活動の推進をもとに、高齢者や障がいがある方などの災害時要援護者の支援体制を「支えあいマップ」づくり等通じて推進。</p> <p>(実績)</p> <p>ア 災害時要援護者の把握と「支えあいマップ」の作成</p>

<p><b>重点</b></p> <p>活動計画 1-1-(3) 1-1-(4)</p>	<p>三木南地区、別所地区、志染地区、細川地区 東自由が丘1丁目自治会</p> <p>イ 「お連れ避難」の取組 ふれあいネットワーク秋桜（自由が丘西） つながりづくりを目的としたサロン活動を生かし、サロン会場でもある一次避難場所に誘い合わせて避難する「お連れ避難」で避難率を上げることを目的として取組を実施した。 実施日 令和4年11月17日（木） 参加者 民生委員児童委員、区長、ふれあいサロン参加者など30人</p> <p>ウ 避難行動要支援者のための個別避難計画作成について考える取組 障がいのある方とその家族、地域防災リーダー等の関係機関が集い、障がいのある方の災害時対応を入りに、平常時からの取組について考えた。取組の1つとして、県の様式を参考に個別避難計画を作成。 まち歩き 令和4年6月14日、11月12日 会議 令和4年7月19日、8月30日、9月27日、12月20日 令和5年2月21日</p> <p>エ 災害ボランティアセンターの後方支援として活動する「災害復旧支援みき軽トラ隊」の登録者募集。 登録者数 24人 (担当課：ボランティア活動プラザみき、地域生活支援課、はばたきの丘)</p>
<p>③災害時要援護者調査書（くらしあんしんシート）</p>	
	<p>災害時に自力で避難できない方の調査を民生委員・児童委員及び市と協働で実施した。</p> <p>(実績)</p> <p>ア 登録件数：1,834件 イ 登録情報のデータ化（ファイルメーカー） ウ 登録情報を「ゼンリン地図アプリケーションLmapIV」に反映 (担当課：地域生活支援課 あんしんサポートセンター)</p>
<p>④災害時要援護者個別支援計画に向けた準備</p>	
<p><b>重点</b></p> <p>活動計画 1-1-(4)</p>	<p>災害時要援護者個別支援計画は、「災害時要援護者調査書（くらしあんしんシート）」と介護支援専門員が作成する「居宅サービス計画」と地図（付近地図）を盛り込んだものとする。</p> <p>(実績)</p> <p>福祉専門職対象防災対応力向上研修の受講 開催日：7月28日（金） 研修履修：2名（生活支援コーディネーター2名） (担当課：地域生活支援課 あんしんサポートセンター、はばたきの丘、ボランティア活動プラザみき)</p>
<p>⑤災害ボランティアセンター運営等に関する調整</p>	
	<p>三木市内において地震や風水害、その他の災害が発生した場合、被災地の状況とニーズを迅速かつ的確に把握し、効率的・効果的なボランティア活動を行うことができるよう協力機関と調整を行う。</p> <p>ア 関係機関との調整 イ 費用負担の調整</p> <p>(実績)</p> <p>一般社団法人三木青年会議所との災害時における相互協力に関する協定を締結（更新） 初回締結 平成30年度 (担当課：法人運営課、ボランティア活動プラザみき)</p>



(9) 共にありがとう活動

①三木市育児ファミリーサポートセンター事業《市受託事業》

地域において育児の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、育児について助け合う会員組織を運営。

(実績)

ア 会員数

総数 531人

(内訳) 依頼会員 318人

協力会員 158人

両方会員 55人

イ マッチング

(件)

活 動 項 目		延件数
①	保育施設の保育開始前・後の預かり	19
②	保育施設までの送迎	235
③	放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり	49
④	学校放課後の預かり	0
⑤	冠婚葬祭、学校行事の際の預かり	1
⑥	買い物外出時の預かり	1
⑦ 上 記 以 外 の 活 動	A子どもの病気時の預かり	0
	B小学校、養護学校などの登校前の子どもの預かり	7
	C放課後児童クラブ、開始前の子どもの預かり	1
	D習い事等への子どもの送迎	387
	E保育所・学校等の休み時の子どもの預かり	29
	F保護者兄弟・姉妹の習い事等の送迎を行う際のこども預かり	0
	G保護者等の病気、その他急用の場合の子どもの預かり	9
	H保護者の求職中の子どもの預かり	1
	I保護者の自宅就労、短時間・臨時的就労の場合の子どもの預かり	91
J保護者の趣味、リフレッシュの際の子どもの預かり	0	
Kその他(上記いずれにも該当しない)	7	
合 計		837

ウ ファミサポ事業啓発(協力会員養成講座(子育てサポート講座))

育児ファミリーサポートセンターの概要紹介と協力会員や両方会員、今からファミサポ活動を始められる方にとって役立つ内容で講座を編成。会員に限らず、子育て中の方であればどなたでも参加していただけるように広く開かれた講座として開催

回数	開催日	内容	参加者数
1	6月15日	育児用品の使い方	5人
2	8月5日	こどもを育てるときに大切なこと	9人
3	12月10日	子どもの事故防止について	6人
4	2月3日	おうちあそび、外あそびを学ぶ	2人

エ 預かり活動報告会の開催

協力会員や両方会員の活動がよりよいものになっていくよう学習会として開催

開催日: 10月25日

テーマ: 加東こども家庭センターへ行こう

参加者: 6人

オ ファミサポ交流会の開催  
 会員同士が交流を深める機会として開催

回数	開催日	内容	参加者数
1	5月24日	バスで行く！ 牧場でバター作り体験！！	22人
2	8月5日	たのしい親子リトミック	16人
3	12月10日	身近な植物を使ってオリジナルリース作りをしよう！	8人
4	2月3日	Cafeflat(カフェフラット) de 交流会	8人

カ 救急救命講習会の開催  
 乳幼児の救急救命について学ぶ機会として開催

回数	開催日	内容	参加者数
1	7月9日	心肺蘇生とAED、応急手当編	10人
		ホームケア<夏>編	8人
2	9月4日	心肺蘇生とAED、応急手当編	5人
		ホームケア<防災>編	5人
3	11月27日	心肺蘇生とAED、応急手当編	9人
		ホームケア<冬>編	7人

キ ファミサポ通信の発行  
 発行回数：6回/年（奇数月）  
 発行部数：1回4,000部

（担当課：ボランティア活動プラザみき）

②三木市高齢者ファミリーサポートセンター事業《市受託事業》

市民互助型の事業として、“日常生活を手助けしてほしい高齢者(依頼会員)”と“できる範囲で手助けしたい方(協力会員)”がお互いに会員登録をし、支え合う活動を展開した。  
 (実績)

ア 会員実績 (単位：人)

依頼会員	286
協力会員	63
両方会員	7
合計	356

イ 地区別会員内訳 (単位：人)

地区名	依頼会員	協力会員	両方会員	合計
三木	65	10	0	75
三木南	20	4	1	25
別所	19	4	1	24
志染	1	0	0	1
細川	2	0	0	2
口吉川	1	1	0	2
緑が丘	77	10	4	91
自由が丘	74	20	0	94
青山	19	3	0	22
吉川	8	11	1	20

合 計	286	63	7	356
-----	-----	----	---	-----

ウ 援助活動実績 (単位：回)

内 容	回 数
① 食事の準備、片付け	47
② 買 物	223
③ 掃 除	549
④ 洗 濯	15
⑤ 外出時の付添	18
⑥ 話し相手・安否確認	5
⑦ 庭の手入れ活動	634
⑧ その他(倉庫の整理整頓、すだれの取付、家具搬出他)	89
合 計	1,580

エ 月別援助活動回数内訳 (単位：回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
回数	122	129	158	128	125	162
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回数	172	145	152	79	77	131

オ 啓発及び会員交流等

① 広報誌の発行

広報誌名：高齢者ファミサポ新聞

発行回数：年2回（2，400部）

配布先：会員、市内公民館を含む公共施設等

② 説明会の開催

会員増に向け、各地域で事業説明、援助活動の流れ等を説明。 (単位：人)

開催日	対象	場所	人数
6月24日	地域住民	緑が丘町公民館	1
6月28日	地域住民	細川町公民館	0
9月20日	地域住民	高齢者福祉センター	34
10月21日	地域住民	ハートフルプラザ	4
10月28日	地域住民	総合保健福祉センター	1
11月 8日	地域住民	緑が丘町公民館	1
11月11日	地域住民	総合保健福祉センター	1
2月 9日	サロン運営ボランティア	緑が丘自治会館分館	6
2月20日	地域住民	自由が丘公民館	3
3月 3日	地域住民	自由が丘公民館	1
3月 9日	サロン参加者	緑が丘自治会館分館	14
3月10日	地域住民	吉川健康福祉センター	1
合 計			67

③ 研修・交流会等の開催

■ 協力会員養成講座の開催

高齢者の日常生活を手助けしたい方(協力会員)を養成することを目的に、援助活動の内容や協力会員の心構えを学ぶ場として開催。

(単位：人)

開催日	場所	人数
4月 8日	緑が丘町公民館	1
6月28日	細川町公民館	0
8月19日	総合保健福祉センター	1

	<table border="1"> <tr><td>8月24日</td><td>緑が丘町公民館</td><td>1</td></tr> <tr><td>10月21日</td><td>ハートフルプラザ</td><td>2</td></tr> <tr><td>10月28日</td><td>総合保健福祉センター</td><td>1</td></tr> <tr><td>11月 8日</td><td>緑が丘町公民館</td><td>1</td></tr> <tr><td>2月20日</td><td>自由が丘公民館</td><td>3</td></tr> <tr><td>3月 3日</td><td>自由が丘公民館</td><td>1</td></tr> <tr><td>3月10日</td><td>吉川健康福祉センター</td><td>1</td></tr> <tr><td colspan="2">合 計</td><td>12</td></tr> </table> <p>■協力会員のための「研修会・連絡会」の開催  援助活動の質を高める技術や智恵を学ぶ場として開催。(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>開催日</th><th>内容</th><th>場所</th><th>人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>7月15日</td><td>車いすの使い方、種類について</td><td>市民活動センター</td><td>14</td></tr> <tr><td>1月13日</td><td>介護保険制度以外の高齢者サービスについて</td><td>市民活動センター</td><td>17</td></tr> </tbody> </table> <p>(担当課：地域生活支援課)</p>	8月24日	緑が丘町公民館	1	10月21日	ハートフルプラザ	2	10月28日	総合保健福祉センター	1	11月 8日	緑が丘町公民館	1	2月20日	自由が丘公民館	3	3月 3日	自由が丘公民館	1	3月10日	吉川健康福祉センター	1	合 計		12	開催日	内容	場所	人数	7月15日	車いすの使い方、種類について	市民活動センター	14	1月13日	介護保険制度以外の高齢者サービスについて	市民活動センター	17
8月24日	緑が丘町公民館	1																																			
10月21日	ハートフルプラザ	2																																			
10月28日	総合保健福祉センター	1																																			
11月 8日	緑が丘町公民館	1																																			
2月20日	自由が丘公民館	3																																			
3月 3日	自由が丘公民館	1																																			
3月10日	吉川健康福祉センター	1																																			
合 計		12																																			
開催日	内容	場所	人数																																		
7月15日	車いすの使い方、種類について	市民活動センター	14																																		
1月13日	介護保険制度以外の高齢者サービスについて	市民活動センター	17																																		
③声の図書貸出事業																																					
	<p>視覚に障がいがある方、その他視覚による表現の認識に障がいがある方を対象に、録音図書等の貸出を行う。</p> <p>(実績)</p> <p>ア 保有数  声の図書保有数：367タイトル</p> <p>イ 貸出状況  延べ285人に貸し出し</p> <p>ウ 三木市立中央図書館に録音図書コーナー設置  毎月5タイトルの声の図書を設置</p> <p>(担当課：ボランティア活動プラザみき)</p>																																				
④三木市福祉有償運送サービス事業																																					
	<p>在宅で車いす等を利用している移動困難な方を対象にリフトカーでの送迎活動を行い、外出を支援。</p> <p>(実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>送迎支援回数</th><th>走行距離</th><th>利用登録者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>996回</td><td>11,578km</td><td>83人</td></tr> </tbody> </table> <p>※車両運転ボランティア数：29人</p> <p>(担当課：ボランティア活動プラザみき)</p>	送迎支援回数	走行距離	利用登録者数	996回	11,578km	83人																														
送迎支援回数	走行距離	利用登録者数																																			
996回	11,578km	83人																																			
⑤かるがもポイント事業																																					
	<p>三木市育児ファミリーサポートセンター入会促進を目的に、入会時にポイントカードを発行。援助活動等で集めたポイントが地域の商店や施設で割引等の活用ができる仕組みを運営し、地域ぐるみの子育て応援を促進。</p> <p>(実績)</p> <p>ア 次の行動に対しポイントを付与</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミサポ入会</li> <li>・ファミサポの行事に参加</li> <li>・ファミサポへの紹介入会</li> <li>・援助活動</li> <li>・チームかえっこ、おさがりあいつこサークル主催行事への参加</li> </ul>																																				

	<p>イ 付与されたポイントが使える店舗・施設</p> <table border="0"> <tr> <td>三木ホースランドパーク</td> <td>北欧館</td> </tr> <tr> <td>三木市消防本部</td> <td>三寿ゞ刃物製作所</td> </tr> <tr> <td>BOS S&amp;MOM</td> <td>吉川温泉よかたん</td> </tr> <tr> <td>三木市文化会館</td> <td>ながしお農場</td> </tr> <tr> <td>三木労音</td> <td>Café flat(なおみ助産院)</td> </tr> <tr> <td>万寿庵</td> <td>富田精肉本店</td> </tr> </table>	三木ホースランドパーク	北欧館	三木市消防本部	三寿ゞ刃物製作所	BOS S&MOM	吉川温泉よかたん	三木市文化会館	ながしお農場	三木労音	Café flat(なおみ助産院)	万寿庵	富田精肉本店
三木ホースランドパーク	北欧館												
三木市消防本部	三寿ゞ刃物製作所												
BOS S&MOM	吉川温泉よかたん												
三木市文化会館	ながしお農場												
三木労音	Café flat(なおみ助産院)												
万寿庵	富田精肉本店												
	(担当課：ボランティア活動プラザみき)												

(10) ボランティア活動の情報収集・発信

①ボランティア・市民活動団体、個人ボランティアの動向調査

	<p>把握するボランティア・市民活動実践団体および個人の現況を把握するための調査を実施。</p> <p>(実績)</p> <p>ア ボランティア・市民活動実践団体把握状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>主たる活動分野</th> <th>団体数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>健康・福祉・医療</td><td>157</td></tr> <tr><td>社会教育の推進</td><td>0</td></tr> <tr><td>まちづくり</td><td>19</td></tr> <tr><td>観光の振興</td><td>6</td></tr> <tr><td>中山間地域の振興</td><td>1</td></tr> <tr><td>文化・芸術・スポーツ</td><td>79</td></tr> <tr><td>環境の保全</td><td>43</td></tr> <tr><td>災害救護</td><td>6</td></tr> <tr><td>地域安全</td><td>9</td></tr> <tr><td>人権擁護・平和推進</td><td>4</td></tr> <tr><td>国際協力</td><td>4</td></tr> <tr><td>男女共同参画</td><td>0</td></tr> <tr><td>子どもの健全育成</td><td>33</td></tr> <tr><td>情報化社会の発展</td><td>1</td></tr> <tr><td>科学技術の活性化</td><td>0</td></tr> <tr><td>経済活動の活性化</td><td>0</td></tr> <tr><td>職業能力の開発雇用機会</td><td>0</td></tr> <tr><td>消費者の保護</td><td>0</td></tr> <tr><td>団体への助言</td><td>1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>0</td></tr> <tr><td>NPO法人数</td><td>33</td></tr> <tr><td>合計</td><td>396</td></tr> </tbody> </table> <p>イ 個人ボランティア・市民活動実践者数</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>個人活動者把握数</td> <td>68人</td> </tr> </table>	主たる活動分野	団体数	健康・福祉・医療	157	社会教育の推進	0	まちづくり	19	観光の振興	6	中山間地域の振興	1	文化・芸術・スポーツ	79	環境の保全	43	災害救護	6	地域安全	9	人権擁護・平和推進	4	国際協力	4	男女共同参画	0	子どもの健全育成	33	情報化社会の発展	1	科学技術の活性化	0	経済活動の活性化	0	職業能力の開発雇用機会	0	消費者の保護	0	団体への助言	1	合計	0	NPO法人数	33	合計	396	個人活動者把握数	68人
主たる活動分野	団体数																																																
健康・福祉・医療	157																																																
社会教育の推進	0																																																
まちづくり	19																																																
観光の振興	6																																																
中山間地域の振興	1																																																
文化・芸術・スポーツ	79																																																
環境の保全	43																																																
災害救護	6																																																
地域安全	9																																																
人権擁護・平和推進	4																																																
国際協力	4																																																
男女共同参画	0																																																
子どもの健全育成	33																																																
情報化社会の発展	1																																																
科学技術の活性化	0																																																
経済活動の活性化	0																																																
職業能力の開発雇用機会	0																																																
消費者の保護	0																																																
団体への助言	1																																																
合計	0																																																
NPO法人数	33																																																
合計	396																																																
個人活動者把握数	68人																																																
	(担当課：ボランティア活動プラザみき)																																																

②ボランティア・市民活動情報「マガジン」の発行

	<p>展開されているボランティア・市民活動の情報はじめ、各種助成金情報等を発信。</p> <p>(実績)</p>
--	--

	<p>ア 月1回 3,000部発行 イ マガジン読者アンケートの実施</p> <p style="text-align: right;">(担当課：ボランティア活動プラザみき)</p>
<p>③ボランティア・市民活動に関する資料（なるほどシリーズ）の作成と提供</p>	
	<p>ボランティア活動に関する用語、意義等を解説した資料を作成。</p> <p>(実績) 住民協議を支援するための資料「(仮称) 今日からあなたも話し合い上手 話し合いがうまくいくために」作成に向けてボランティア活動プラザみき運営委員会で協議中</p> <p style="text-align: right;">(担当課：ボランティア活動プラザみき)</p>
<p>④SNS等を活用した情報の発信</p>	
	<p>ア インターネットを活用した情報発信 ※Facebook「e-まちネット@みき」の運営 イ LINE公式アカウントによるメッセージ配信 ウ カレンダーアプリを活用した情報発信 ※timetree「子育て応援公開カレンダー」の運用</p> <p>(実績) ア Facebook「e-まちネット@みき」 フォロワー数 362人 イ LINE公式アカウント(令和元年10月1日開始) 登録者数 296人 メッセージ配信 24回 ウ TimeTree「子育て応援公開カレンダー」(令和2年8月1日開始) 参画団体 12団体 情報配信 21件</p> <p style="text-align: right;">(担当課：ボランティア活動プラザみき)</p>

### 3 日常生活自立支援の充実

#### (1) 総合相談機能の取り組み

##### ①市民ふくし相談所《市受託事業》

市民が気軽に相談できる窓口としての相談所を開設し、啓発を進める。また関係機関と連携し、総合的な相談窓口の役割を担うと共に必要な情報発信を行い、機能強化に努めた。

(実績)

##### ア 開設状況

名称	開設日	会場
一般相談	第2・3水曜日	市民活動センター 相談室
	第4土曜日	
	第1月曜日	吉川健康福祉センター
法律相談	毎月1回 第2水曜日	市民活動センター 相談室
生活援助相談	毎週月～金曜日	三木市総合保健福祉センター

##### イ 相談状況

[相談事項別件数内訳]

※新型コロナウイルス関係の貸付相談は別途集計しているため含んでいない。

##### 令和4年度 年間市民ふくし相談所活動実績表

相談項目	一般相談			法律 相談	取扱 件数	解決 件数
	計	(三木)	(吉川)			
1 生計	2	2	0	2	4	3
2 年金	0	0	0	0	0	0
3 職業・生業	1	1	0	0	2	0
4 住宅	2	2	0	0	3	0
5 家族	5	3	2	2	9	4
6 結婚	0	0	0	0	0	0
7 離婚	1	0	1	0	1	0
8 健康・衛生	0	0	0	0	0	0
9 医療	1	1	0	0	2	1
10 精神衛生	0	0	0	0	0	0
11 人権・法律	1	1	0	2	4	1
12 財産	7	7	0	7	14	3
13 事故	2	2	0	0	2	1
14 児童福祉・母子保健	0	0	0	0	0	0
15 教育・青少年	0	0	0	0	0	0
16 心身障害者(児)福祉	0	0	0	0	0	0
17 母子福祉・父子福祉	0	0	0	0	0	0
18 老人福祉	2	2	0	0	2	2
19 苦情	7	7	0	1	11	3
20 その他	10	7	3	3	16	12
合計	41	35	6	17	70	30

[開設日数・相談対応時間]

相談項目	開設日数	相談時間数
一般相談	48日	30時間
法律相談	12日	9時間
その他		2時間
合計 (延)	60日	41時間

※ その他については、相談日以外に職員が対応したものを含む

[相談対応区分]

相談方法	件数
面接相談	52件
電話相談	18件
その他相談	0件
合計	70件

(実相談件数)

ウ 相談員の人数

一般	弁護士	合計
10名	2名	12名

エ 相談員連絡会の開催

名称	開催日	参加者数	会場
全体会	8月24日	8名	三木市総合保健福祉センター
全体会	2月7日	7名	三木市総合保健福祉センター

(担当課：相談支援課)

②権利擁護に関する相談窓口

高齢者・障がい者等の権利擁護に関する相談体制を整えた。権利擁護支援に関する常設の相談窓口を明示し、制度普及や利用促進に努めた。

(実績)

ア 日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

※別掲載(P52~P53参照)

イ 法人後見の取組に関する研究

※別掲載(P52参照)

(担当課：相談支援課)

③三木市成年後見支援センター事業《市受託事業》

**重点**

活動計画  
2-1-(2)

高齢者・障がい者の成年後見制度に関する相談を受け、情報提供や手続きのアドバイスなどの対応を行った。また、「成年後見専門相談」、市民向け学習会「映像で学ぶはじめての成年後見制度」、「成年後見制度を知る市民講座」を開催した。また、地域の団体等からの依頼に応じ、出前講座を行い、成年後見制度の普及啓発等を行った。

(実績)

ア 成年後見制度に関する相談および利用支援

三木市総合保健福祉センター内に設置した相談スペースで、成年後見制度や権利擁護に関する相談を受け付けた。相談の内容に応じて専門家や家庭裁判所を紹介するなど、手続きの方法について案内した。



一般相談 日 時 月～金曜日 8:30～17:00 相談方法 来所、電話、訪問等 開設日数 243日 相談件数 159件	一般相談件数内訳 新規件数 71件 継続件数 88件 (相談方法) 電話 86件 来所 47件 訪問 16件 その他 10件 ※メール等 (対象者) 高齢者 144件 知的障害者 10件 精神障害者 0件 その他 5件 ※匿名等
専門相談 日 時 毎月第2木曜日 13:30～16:30 場 所 総合保健福祉センター 相談員 司法書士(公益社団法人成年後見センター リーガルサポート兵庫支部) 社協職員(三木市成年後見支援センター) 実施回数 月1回 年計12回 相談件数 19件	
相談アドバイザー契約 相談方法 電話、電子メール 相談員 弁護士・司法書士	相談件数合計 4件

イ 成年後見人への活動支援

親族後見人、専門職後見人からの相談受付、活動支援を随時行った。

ウ 成年後見制度に関する広報及び啓発

① 映像で学ぶはじめての成年後見制度

成年後見制度のあらましについて気軽に知る機会を設け、啓発用DVDを使って制度説明と、日常生活自立支援事業について説明した。

定例開催分

会場	回数	参加者数
三木市健康保健福祉センター他	12回	38人

② 成年後見制度研修会

・「成年後見制度を知る市民講座」

「成年後見制度」や「日常生活自立支援事業」について必要とする市民が増加傾向にあり、制度や事業の理解を深めるために成年後見制度の概要について、事例等交えて学ぶ研修会を開催した。

月 日	会 場	参加者数
9月28日	三木市立図書館	5人
10月27日	三木市立総合保健福祉センター	5人
11月22日	三木市立市民活動センター	9人
参加者合計		19人

内 容 成年後見制度の概要、老後や相続の不安への備え、自宅などの不動産の管理と、障害のある家族の将来の安心について

講 師 いわさき司法書士事務所 司法書士 岩崎隼人氏

・「成年後見制度を知る市民講座プラス」

「成年後見制度」は判断能力が不十分になった際に利用される制度であるが、本人の意思が反映できる時点から事前に備える任意後見制度の利用促進の重要性が第2期成年後見制度利用促進計画において示されている。

具体的な内容としては、「生前整理」や「エンディングノート」等についての研修会を行った。

月日	会場	参加者数
1月31日	三木市立市民活動センター	24人
参加者合計		24人

内 容 生前整理、エンディングノートについて  
 講 師 生前整理アドバイザー認定指導員  
 行政書士 司法書士 宮家 史子氏

③ 成年後見制度についての出前講座

成年後見制度について地域の団体等からの依頼に応じ、出前講座を行い、成年後見制度の普及啓発等を行った。

講座名	対象者	開催日	参加者数
成年後見制度の概要について	高齢者いきがいセミナー参加者	8月22日	11人
あなたを支える制度 ～成年後見制度について～	NPO 法人ざくろ職員、利用者、家族、関係機関	1月18日	23人

④ 成年後見・権利擁護セミナー

関心のあるできごととあわせ、成年後見制度を含めた権利擁護を身近に感じ、制度等の理解を深めることで理解者を育成することにつながり、制度についての普及活動と必要な支援等がスムーズに利用へとつながることを目的としている。

月日	会場	参加者数
3月27日	三木市立教育センター	41人

内容：もしもの時の備え～死後事務委任契約とは～  
 三木市成年後見支援センターについて  
 講師：緑が丘法律事務所 弁護士 吉倉美加子氏

エ 成年後見制度にかかわる関係機関等との連携

成年後見関係者交流会の開催

親族・専門職後見人と医療・福祉関係者を対象として、専門職後見人の活動を通じ情報の交換を行い、交流を図ることで今後の後見活動を円滑に行えるようにすることを目的として開催した。

月日	会場	参加者数
3月8日	三木市立教育センター	26人

内容：三田市における権利擁護実務者会議の実践について  
 講師：三田市社会福祉協議会 権利擁護・成年後見支援センター  
 二階堂 知里 氏 石井 ころろ 氏

オ 市民後見人等の養成準備

令和4年度に実施された県内の社会福祉協議会間の職員交流において、三田市社会福祉協議会 権利擁護 成年後見支援センターへ派遣し、権利擁護サポーター養成講座（市民後見人養成）について聞き取りを行った。

カ 成年後見制度利用促進基本計画が示す中核機関設置に向けた協議  
 三木市担当課と中核機関設置に向けた協議を行った。

日程	内容
8月16日	周知・啓発について 成年後見支援センター運営協議会について

		中核機関、地域連携ネットワークの設置について	
	9月26日	地域連携ネットワーク作りについて①	
	10月7日	地域連携ネットワーク作りについて②	
	10月19日	成年後見支援センター運営協議会について 啓発グッズによる制度の周知について 令和5年度の事業計画について	
	11月28日	地域連携ネットワーク作りについて③	

(担当課：相談支援課)

④在宅介護支援センター《市受託事業》

総合的な相談に応じ介護等に関する各種の保健福祉サービスが受けられるよう各関係機関と連絡調整を行った。

(実績)

ア 相談実件数

年間3,338件(内訳:電話2,283件、来所303件、訪問752件)

イ 事業所別相談実績件数

(単位：件)

区分	口吉川	志染	ひまわり	三木南	三木東	三木北	自由が丘	細川	合計
相談実件数	592	565	461	334	576	506	214	90	3,338
相談延件数	694	734	502	474	829	788	248	130	4,399
介護保険関係	431	514	415	279	461	435	175	86	2,796
介護保険外	20	12	16	12	26	2	21	1	110
虐待相談	0	1	0	0	0	0	0	0	1
認知症相談	7	5	0	21	39	21	9	0	102
権利擁護相談	1	13	0	0	0	6	0	0	20
医療相談	226	171	68	136	297	251	31	39	1,219
その他	9	18	3	26	6	73	12	4	151
連絡調整	172	291	111	181	330	254	33	88	1,460

ウ 要援護高齢者等実態把握件数

(単位：件)

口吉川	志染	ひまわり	三木南	三木東	三木北	自由が丘	細川	合計
42	26	40	21	98	71	18	6	322
1	1	0	0	3	1	0	0	6
43	27	40	21	101	72	18	6	328

エ 「食」の自立支援事業アセスメント業務

市介護保険課からの依頼により、対象者に対してアセスメントを実施した。

内容	件数
「食」の自立支援事業のアセスメント	48件

オ 住宅改修理由書作成業務

市介護保険課からの依頼により、介護支援専門員が介護保険制度における住宅改修について理由書を作成した。

内容	件数
住宅改修理由書作成	74件

(担当課：地域生活支援課 各地域福祉センター)

⑤あんしんサポートセンター

少子・高齢化の進行や家族、地域社会の変化に伴い個人にかかる課題が多様化するなかで、地域住民の誰もが気軽に相談できる窓口を市内8か所のデイサービスセンター内に設置し、課題解決に向けて取り組んだ。

	ア 相談者(人)	イ 相談件数 (対象者別)																																
	<table border="1"> <tr><td>高齢者</td><td>19,785</td></tr> <tr><td>障がい者</td><td>5</td></tr> <tr><td>子育て中の親(子)</td><td>0</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>8</td></tr> <tr><td>計</td><td>19,798</td></tr> </table>	高齢者	19,785	障がい者	5	子育て中の親(子)	0	地域住民	8	計	19,798	<table border="1"> <tr><td>本人・家族</td><td>15,968</td></tr> <tr><td>民生委員・児童委員</td><td>47</td></tr> <tr><td>ボランティア</td><td>7</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>29</td></tr> <tr><td>行政・機関</td><td>883</td></tr> <tr><td>施設・サービス事業者</td><td>2,774</td></tr> <tr><td>各種団体</td><td>204</td></tr> <tr><td>計</td><td>19,912</td></tr> </table>	本人・家族	15,968	民生委員・児童委員	47	ボランティア	7	地域住民	29	行政・機関	883	施設・サービス事業者	2,774	各種団体	204	計	19,912						
高齢者	19,785																																	
障がい者	5																																	
子育て中の親(子)	0																																	
地域住民	8																																	
計	19,798																																	
本人・家族	15,968																																	
民生委員・児童委員	47																																	
ボランティア	7																																	
地域住民	29																																	
行政・機関	883																																	
施設・サービス事業者	2,774																																	
各種団体	204																																	
計	19,912																																	
	ウ 相談内容(件数)																																	
	<table border="1"> <thead> <tr><th>内容</th><th>件数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>介護保険関係</td><td>18,285</td></tr> <tr><td>健康・福祉サービス</td><td>328</td></tr> <tr><td>虐待</td><td>6</td></tr> <tr><td>認知症</td><td>760</td></tr> <tr><td>権利擁護</td><td>74</td></tr> <tr><td>医療</td><td>3,497</td></tr> <tr><td>日常生活</td><td>1,932</td></tr> <tr><td>移動手段</td><td>98</td></tr> <tr><td>子育て</td><td>0</td></tr> <tr><td>苦情</td><td>0</td></tr> <tr><td>地域交流</td><td>6</td></tr> <tr><td>地域活動・ボランティア活動</td><td>5</td></tr> <tr><td>地域での見守り</td><td>37</td></tr> <tr><td>その他</td><td>392</td></tr> <tr><td>合計</td><td>25,420</td></tr> </tbody> </table>	内容	件数	介護保険関係	18,285	健康・福祉サービス	328	虐待	6	認知症	760	権利擁護	74	医療	3,497	日常生活	1,932	移動手段	98	子育て	0	苦情	0	地域交流	6	地域活動・ボランティア活動	5	地域での見守り	37	その他	392	合計	25,420	
内容	件数																																	
介護保険関係	18,285																																	
健康・福祉サービス	328																																	
虐待	6																																	
認知症	760																																	
権利擁護	74																																	
医療	3,497																																	
日常生活	1,932																																	
移動手段	98																																	
子育て	0																																	
苦情	0																																	
地域交流	6																																	
地域活動・ボランティア活動	5																																	
地域での見守り	37																																	
その他	392																																	
合計	25,420																																	
	(担当課：地域生活支援課 各地域福祉センター)																																	

(2) 介護予防の取り組み

①地域介護教室《市受託事業》

<p>重点</p> <p>活動計画 2-2-(1)</p>	<p>高齢者自らが元気にいきいきと過ごすための介護予防に向けた取り組みができるように、介護予防に関する知識の普及啓発を行った。</p>				
	地域	延開催回数	延参加者数	主な内容	実施事業所
	大塚、三木地区全域	2回	38人	・認知症予防に関すること ・運動機能向上に関すること	三木東
	栄町、中町、下町	3回	48人	・介護保険に関すること ・認知症予防に関すること	三木南
	向陽園	1回	22人	・運動機能向上に関すること ・住宅改修について	三木北
南畑、榎、里脇	4回	44人	・運動機能向上に関すること ・認知症予防に関すること ・栄養に関すること ・フレイル対策について	口吉川	

	細川中	2回	21人	・運動機能向上に関すること	細川
	緑が丘中1丁目、 緑が丘東3丁目、 緑が丘全域	3回	35人	・口腔機能向上に関すること ・栄養に関すること ・認知症予防に関すること	ひまわり
	あかねが丘、 中自由が丘、 中2丁目、 学校北、白菊、 自由が丘全域	8回	137人	・介護保険に関すること ・運動機能向上に関すること ・口腔機能向上に関すること ・認知症予防に関すること ・フットケアについて ・熱中症予防について ・冬の感染症対策について	自由が丘
	合計	23回	345人		

(担当課：地域生活支援課 各地域福祉センター)

②家族介護教室《市受託事業》

家庭で高齢者等を介護している家族の身体的、精神的負担の軽減を目的に講話や実技を盛り込んだ家族介護教室を開催した。

**重点**

活動計画  
2-2-(1)

実施日	実施場所	内容	人数	実施事業所
12月16日	デイサービスセンター三木東	介護うつにならないために 服薬介助について	9人	三木東
1月26日	デイサービスセンターひまわり	お腹の健康について 病気の予防について	9人	ひまわり
2月9日	口吉川町公民館	介護者の心と体をリフレッシュ	19人	口吉川
2月28日	デイサービスセンター志染	高齢者の栄養、低栄養について 認知症予防について	8人	志染
3月9日	デイサービスセンター三木北	薬の管理方法や飲み方について 水分摂取について	14人	三木北
合計			59人	

(担当課：地域生活支援課 各地域福祉センター)

③転倒骨折予防教室《市受託事業》

筋力トレーニング「みっきい☆いきいき体操」や「みっきい☆健脚体操」を活用し、運動機能の維持・向上と介護予防についての理解を深めることを目的に転倒骨折予防教室を開催した。

**重点**

活動計画  
2-2-(1)

(実績)

実施期間	実施場所	延参加者数	実施事業所
5月30日～9月12日	中央公民館	168人	介護支援センター8センター
9月15日～12月22日	別所公民館	126人	介護支援センター8センター

(担当課：地域生活支援課 各地域福祉センター)

④三木市高齢者ボランティアポイント事業《市受託事業》

**重 点**

活動計画  
1-1-(3)

65歳以上の方を対象に、介護予防と自発的な社会参加に取り組む機会とし展開。

(実績)

毎週金曜日を事業説明会として実施  
登録者数：100人（延べ活動者数：379人）  
活動先登録：40か所

(担当課：ボランティア活動プラザみき)

⑤市「広報みき」の音訳・点訳版の発行《市受託事業》

毎月発行される「広報みき」の音訳・点訳版を製作し希望する視覚障がい者に対して配布。

(実績)

(人)

	音訳版	点訳版
4月	13	6
5月	13	6
6月	25	12
7月	13	6
8月	13	6
9月	13	6
10月	13	6
11月	13	6
12月	12	6
1月	12	6
2月	12	6
3月	13	6

\*6月は選挙特集号を含む。

(担当課：ボランティア活動プラザみき)

(3) 権利擁護と自立支援の取り組み

①成年後見事業（法人後見）の開始に向けた準備

**重 点**

活動計画  
2-2-(2)

認知症、知的障がい、精神障がいなどによって判断能力が十分でない方に対し、本会が成年後見人、保佐人又は補助人となって、本人の判断能力を補う法人後見の開始に向けた準備を検討する。

(視察研修)

法人後見を実施している洲本市社会福祉協議会へ視察研修を実施した。

日 程	内 容
2月20日	法人後見業務の取組について

(担当課：相談支援課)

②日常生活自立支援事業《県社協受託事業》

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などの判断能力に不安のある方が地域で安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理支援、通帳・印鑑預かり等の支援を行った。

(実績)

ア 利用者件数

対象	現利用者数	新規契約数	解約数
高齢者	17名	4名	5名
知的障がい者	13名	2名	0名
精神障がい者	18名	2名	1名

その他	5名	0名	0名
計	53名	8名	6名

イ 生活支援員活動実績件数

生活支援員数	支援活動回数	支援活動時間数
14名	1,343回	1,027時間

ウ 相談件数

対象	相談件数
高齢者	641件
知的障がい者	751件
精神障がい者	1,467件
その他	192件
計	3,051件

エ 生活支援員情報交換会

生活支援員同士の交流と実際の活動の振り返りを行い、活動の質の向上、円滑な活動を行うため開催

月 日	内容	参加人数	会場
8月 4日	情報交換・報告	11名	三木市総合保健福祉センター
2月 16日	情報交換・報告	11名	三木市総合保健福祉センター

オ 日常生活自立支援事業に関する広報・啓発

- 日常生活自立支援事業についての出前講座

日 時：3月11日（土） 13時30分～15時30分

場 所：三木市立教育センター

内 容：家族、当事者、支援者、関係機関に対し、家族が関わる事例を踏まえ説明を行った

実施主体：北播地区こころの病家族教室

- 各種講座内での啓発

講座名	開催数
映像で学ぶはじめての成年後見制度	12回
成年後見制度を知る市民講座	3回
成年後見制度を知る市民講座プラス	1回
成年後見・権利擁護セミナー	1回
その他出前講座	2回

※参加人数は、P47～48記載の成年後見制度講座等と重複するため割愛している。

(担当課：相談支援課)

③福祉機器貸出

在宅での介護が必要な高齢者や障がいのある方に快適な療養生活を支援し、市内8か所のあんしんサポートセンターとよかわステーションに短期用車いすを配置することで、介護者の身体的な負担を軽減するため車いす・松葉杖の貸し出しを行った。

(実績)

ア 長期・短期用福祉機器貸出

【保有数】

名称	台数
車いす	133台
車いす(子ども用)	3台
松葉杖	3組



松葉杖（子ども用）	2組
【貸出受付件数】	
名称	件数
車いす	271件
車いす（子ども用）	15件
松葉杖	3件
松葉杖（子ども用）	0件

（担当課：相談支援課、地域生活支援課 各地域福祉センター）

④生活福祉資金貸付《県社協受託事業》

低所得等で他からの資金利用が困難な世帯などに対して、経済的自立支援を図るため、兵庫県社会福祉協議会が運営する資金貸付事業の相談や申請受付等をおこなった。

「福祉費」「教育支援資金」については、民生委員・児童委員と連携して申し込みから償還までの相談支援を行った。

「総合支援資金」については、生活困窮者自立支援制度の「自立相談支援事業」と連携し、相談対応に取り組んだ。

ア 相談件数

相談件数	106件
（相談延べ件数）	（903件）

イ 貸付決定件数

資金項目		件数
福祉資金	福祉費	0件
	緊急小口資金	0件
	新型コロナウイルス 特例緊急小口資金	23件
教育支援資金		4件
総合支援資金	総合支援資金	0件
	新型コロナウイルス 特例総合支援資金	17件
計		44件

ウ 貸付（償還中）件数

資金項目		貸付件数
福祉資金	福祉費	0件
	緊急小口資金	2件
	新型コロナウイルス 特例緊急小口資金	263件
教育支援資金		41件
総合支援資金	総合支援資金	58件
	新型コロナウイルス 特例総合支援資金	308件
離職者支援資金（H21.9.30廃止）		1件
計		673件

エ 償還完了件数

資金項目		件数
福祉資金	福祉費	0件
	緊急小口資金	0件
	新型コロナウイルス 特例緊急小口資金	3件



教育支援資金		2件
総合支援資金	総合支援資金	2件
	新型コロナウイルス 特例総合支援資金	1件
離職者支援資金 (H21.9.30 廃止)		0件
計		8件

オ 償還免除・償還手続き促進

新型コロナウイルス特例貸付を受けた世帯に対し、償還免除・償還手続き促進の案内をP55に記載の生活応援物品配付事業と合わせて行った。また、生活応援物品配布時に現在の生活状況について聞き取りを行った。

対象 388世帯（うち生活応援物品配布希望83世帯、不要7世帯）

相談件数 14件

生活状況の聞き取り 105件（電話、FAXでの問い合わせを含む）

（担当課：相談支援課）

⑤ 生活困窮者等への食料品の無償提供の取り組み

みき善意銀行に寄託された食料品や生活協同組合コープこうべに寄せられた食料品を「子ども食堂」等の運営活動を行う活動団体や生活困窮者に対して無償提供し、支援を行う。

ア① 生活協同組合コープこうべ第4地区本部との「食料等の無償提供に関する合意書」に基づく食料品の無償提供

（実績）

登録団体 11団体

食材提供実績

提供団体数 11団体

提供回数 50回

提供食材数 3,070個

②マックスバリュ西日本株式会社との「フードバンク利用契約書」に基づく食料品の無償提供

（実績）

登録団体 5団体

食材提供実績 5団体

提供回数 33回

提供食材数 266個

イ みき善意銀行寄託分の食料品の無償提供

（実績）

物品寄託数 15件

主な物品 米

提供先 子ども食堂運営団体、生活困窮家庭

ウ 生活応援物品配付事業

新型コロナウイルスの影響により、生活福祉資金の貸付を利用され、貸付後も自立に向けた支援が必要な世帯に対し、食料等の配布と生活相談を行った。

生活応援物品は生活協同組合コープこうべからの寄付、フードドライブ寄せられた物品及び赤い羽根共同募金配分金を活用し準備を行った。

（実績）

案内数 388世帯

申込数 83世帯

配布 令和4年9月15日～9月30日 16日間

（担当課：法人運営課、相談支援課）

#### 4 在宅福祉・医療サービスの充実

##### (1) 介護・医療サービス関連の取り組み

###### ①訪問介護事業

###### ア 介護保険

利用者ニーズに基づいた質の高い安定した訪問介護サービスを要援護高齢者だけでなく、障がい、育児等の分野でも提供した。

###### ①利用者状況（令和4年度末現在）

要介護者の利用者数 68人  
要支援者の利用者数 38人  
事業対象者の利用人数 2人

###### ・介護度別利用者数(実利用者)

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	暫定	合計
2	13	25	19	23	11	10	5	0	108

###### ②サービス別利用実績(延べ派遣回数)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	291	266	257	221	245	243	260	295	326	282	296	354	3,336
身体生活	404	383	348	335	358	337	361	330	325	334	311	320	4,146
生活援助	390	398	402	389	387	391	380	401	377	353	347	352	4,567
小計	1,085	1,047	1,007	945	990	971	1,001	1,026	1,028	969	954	1,026	12,049

#### 重点

##### 基盤計画

2-(1)

4-(1)

###### イ 三木市養育支援訪問事業《市受託事業》

妊娠・出産・育児に対して特に孤立感や負担感等のある家庭に対し、家事援助のホームヘルプサービスを実施した。

実利用者数 7人（令和4年度末現在）

延べ派遣回数 171回

###### ・月別利用実績

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	4	15	15	14	7	8	11	9	16	36	36	171

###### ウ 自主事業

制度では対応できない利用者に対し、身体介護や家事援助等生活する上で必要なサービスを自主事業として実施した。

実利用者数 5人（令和4年度末現在）

延べ派遣回数 506回

###### ・月別利用実績

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
45	50	67	57	65	59	45	25	23	21	21	28	506

(担当課：地域生活支援課 ヘルパーステーション)

②通所介護事業

介護や支援が必要な高齢者を三木市内8か所の施設で受け入れ、入浴・食事等日常生活の介助や機能訓練等を行い、地域や個人のニーズに基づいた質の高い安定した通所介護サービスを実施した。

ア 介護保険

- ①基本サービス提供時間 7時間以上～8時間未満
- ②営業日 月～土曜日 営業日数308日
- ③延べ利用者数
  - 要介護者 年間 51,881人
  - 要支援者 年間 10,616人
  - 暫定(暫定ケアプラン)年間 688人
  - 合計 年間 63,185人

④年度末介護度別利用者数(実利用者)

事業所名	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	暫定	合計
口吉川	6	17	11	16	5	4	1	1	61
志染	2	12	13	12	11	2	4	2	58
ひまわり	2	16	22	26	12	8	2	0	88
三木南	3	13	17	21	11	7	0	1	73
三木東	7	9	15	20	9	5	2	3	70
三木北	7	15	22	18	9	6	4	0	81
自由が丘	1	20	16	18	11	4	2	3	75
細川	2	8	3	17	11	5	0	0	46
合計	30	110	119	148	79	41	15	10	552

⑤事業所別利用実績(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308
延べ利用者数	5,551	5,520	5,597	5,032	5,304	5,237	5,527	5,448	5,105	4,644	4,832	5,388	63,185
口吉川	579	527	606	634	634	588	629	618	562	514	514	610	7,015
志染	594	554	489	597	563	454	543	543	510	487	491	551	6,376
ひまわり	889	908	879	780	826	858	863	830	768	654	702	747	9,704
三木南	702	707	735	442	614	657	711	731	675	654	652	682	7,962
三木東	773	766	816	647	668	731	745	692	669	587	636	736	8,466
三木北	708	706	715	693	712	726	742	735	710	639	681	737	8,504
自由が丘	615	661	676	640	646	582	653	638	591	549	610	699	7,560
細川	691	691	681	599	641	641	641	661	620	560	546	626	7,598
一日平均(定員)	213.5	212.3	215.3	193.5	196.4	201.4	212.6	209.5	212.7	193.5	201.3	199.6	205.1
口吉川 (35)	22.3	20.3	23.3	24.4	23.5	22.6	24.2	23.8	23.4	21.4	21.4	22.6	22.8
志染 (30)	22.8	21.3	18.8	23.0	20.9	17.5	20.9	20.9	21.3	20.3	20.5	20.4	20.7
ひまわり (45)	34.2	34.9	33.8	30.0	30.6	33.0	33.2	31.9	32.0	27.3	29.3	27.7	31.5
三木南 (40)	27.0	27.2	28.3	17.0	22.7	25.3	27.3	28.1	28.1	27.3	27.2	25.3	25.9
三木東 (40)	29.7	29.5	31.4	24.9	24.7	28.1	28.7	26.6	27.9	24.5	26.5	27.3	27.5
三木北 (35)	27.2	27.2	27.5	26.7	26.4	27.9	28.5	28.3	29.6	26.6	28.4	27.3	27.6
自由が丘 (40)	23.7	25.4	26.0	24.6	23.9	22.4	25.1	24.5	24.6	22.9	25.4	25.9	24.5
細川 (30)	26.6	26.6	26.2	23.0	23.7	24.7	24.7	25.4	25.8	23.3	22.8	23.2	24.7

重点

基盤計画

2-(1)

4-(1)

4-(2)

4-(3)

イ 自主事業

介護予防・日常生活支援総合事業利用者で基本回数を超える利用希望者を対象に社協の自主事業でサービスを提供した。

①延べ利用回数 381回

②事業所別利用実績(延べ利用回数)

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
口吉川	13	6	8	10	9	8	11	9	4	4	6	7	95
志染	5	4	4	5	4	4	5	4	1	4	4	4	48
ひまわり	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5
三木南	4	4	4	0	4	5	4	4	4	3	0	0	36
三木東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
三木北	5	4	4	5	8	4	9	0	0	0	0	0	39
自由が丘	0	8	9	3	0	8	8	8	6	8	8	10	76
細川	0	9	9	6	8	9	9	6	7	7	8	0	78
合計	27	35	38	29	33	38	46	36	22	26	30	21	381

(担当課：地域生活支援課 各地域福祉センター)

③居宅介護支援事業

介護を必要とされる方が、自宅で適切にサービスを利用できるよう、各事業所に介護支援専門員を配置し、ケアプラン及び予防プラン等の作成を行った。

(実績)

ア ケアプラン作成件数

①ケアプラン総数 年間 6,580件

②予防プラン総数 年間 1,923件(うち介護予防ケアマネジメント 624件)

③介護度別利用者数(実利用者) (単位：人)

事業所名	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
口吉川	7	22	15	21	8	5	4	82
志染	4	15	20	14	15	8	1	77
ひまわり	3	10	28	29	17	15	3	105
三木南	6	10	30	28	19	10	4	107
三木東	17	19	25	38	19	12	4	134
三木北	4	18	22	26	13	10	4	97
自由が丘	3	6	17	21	13	6	3	69
細川	1	10	2	13	6	9	0	41
合計	45	110	159	190	110	75	23	712

④事業所別ケアプラン作成件数

(単位：件)

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
口吉川	51	53	55	51	54	50	56	61	55	53	50	53	642
志染	60	63	65	65	62	60	60	51	53	56	57	58	710
ひまわり	90	90	91	91	88	90	92	89	90	89	90	92	1,082
三木南	83	86	86	82	84	88	90	89	89	89	90	91	1,047
三木東	98	100	98	102	96	102	102	102	93	95	94	98	1,180
三木北	68	71	69	76	74	77	76	77	77	79	76	75	895
自由が丘	50	51	51	53	51	53	53	52	53	53	57	60	637
細川	33	34	34	32	32	31	33	33	35	31	29	30	387
合計	533	548	549	552	541	551	562	554	545	545	543	557	6,580

重点

基盤計画

2-(1)

4-(1)

4-(2)

4-(3)

⑤事業所別予防プラン受託件数（介護予防ケアマネジメント含む）（単位：件）

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
口吉川	28	28	28	34	33	33	31	29	32	29	27	29	361
志染	28	29	29	29	28	28	27	23	20	19	20	19	299
ひまわり	15	15	15	15	15	13	11	14	15	13	13	13	167
三木南	15	15	17	17	17	17	17	19	18	19	17	16	204
三木東	32	30	33	33	33	33	34	36	37	37	37	36	411
三木北	19	18	18	17	17	19	20	20	20	21	21	22	232
自由が丘	7	7	8	7	8	8	8	8	10	8	8	9	96
細川	12	13	13	13	12	13	13	14	14	13	12	11	153
合計	156	155	161	165	163	164	161	163	166	159	155	155	1,923

イ 要介護認定の訪問調査《市受託事業》

介護支援専門員が三木市及び三木市外からの依頼に基づき、要介護認定調査を行った。

①事業所別調査件数

三木市 年間 327件、三木市外 年間 82件（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
口吉川	2	1	6	3	2	2	3	0	6	6	7	4	42
志染	0	1	1	5	4	2	4	5	6	5	5	9	47
ひまわり	4	3	7	5	2	2	5	4	7	6	8	3	56
三木南	1	2	5	3	2	2	3	1	13	8	9	7	56
三木東	3	2	1	6	3	4	7	4	9	6	10	12	67
三木北	4	2	5	4	5	7	4	5	8	4	8	7	63
自由が丘	3	5	3	4	5	3	1	5	5	4	5	6	49
細川	3	2	3	5	1	1	3	2	0	2	4	3	29
合計	20	18	31	35	24	23	30	26	54	41	56	51	409

（担当課：地域生活支援課 各地域福祉センター）

④訪問看護事業

医療的なケアが必要な利用者に対し、在宅での生活が継続できるよう訪問看護や訪問リハビリテーションを実施した。

重点

基盤計画  
2-(1)  
4-(1)

（実績）

ア 年度末利用者状況

①介護保険の利用者数 53人

②医療保険の利用者数 18人

合計 71人

③介護度別利用者数(実利用者)

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	暫定	医療 保険	合計
2	10	8	7	9	10	7	0	18	71

④事業別利用実績(延べ派遣回数)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
20分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(緊急)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30分未満	90	73	90	80	82	96	86	89	91	79	99	117	1,072
(緊急)	4	1	3	4	3	2	3	0	3	2	5	2	32
30-60	77	79	83	79	75	73	78	74	62	58	63	77	878
(緊急)	1	1	0	0	3	3	3	0	1	5	0	0	17
60-90	3	5	7	0	2	1	7	7	5	6	8	8	59
(緊急)	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	3
90分以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
PT 20分	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	3
PT 40分	28	54	61	49	51	54	55	35	45	33	37	51	553
PT 60分	2	3	4	4	5	5	3	20	2	2	0	2	52
小計	205	216	248	216	222	236	236	225	209	188	212	257	2,670
医療保険	194	180	201	169	175	180	216	177	197	182	151	187	2,209
医療保険(緊急)	5	4	8	5	4	6	7	3	4	2	3	7	58
自主事業(エンゼルケア等)	10	6	4	5	5	8	7	7	12	6	3	4	77
合計	414	406	461	395	406	430	466	412	422	378	369	455	5,014

※PTは理学療法士の派遣

※エンゼルケアは、死後処置のことを指す。

(担当課：地域生活支援課 訪問看護ステーション)

(2) 障害福祉サービス関連の取り組み

①障害福祉サービス事業

生活介護では、利用者に寄り添い意思を反映した支援ができるよう、棟ごとにと組を行った。昨年度に続き、新型コロナウイルス感染対策を徹底した上で、利用者間の交流や行事、生産活動や少人数での外出活動を行うなど、充実した時間となるよう支援した。

自立訓練（機能訓練・生活訓練）では、本人と目的・プログラムを共有し実践した。また、他機関との連携により利用終了後の移行先につなぐことができた。

就労継続支援B型では、引き続き安全用品の下請け作業を行った。就職を希望している利用者に対して、企業見学や実習、ハローワークの手続きなど、関係機関と連携して支援した。その結果1名の利用者が一般企業の障害者雇用につながった。また、利用者が長く健康に通所できるよう、感染対策についての取組、身体機能維持のための環境調整とトレーニングの実施、体調管理のためのチェック表の活用等の支援を行った。

(実績)

障害福祉サービス利用状況

ア 生活介護

定員20人（目標利用者数18.0人）

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243
契約者数	29	29	29	29	29	30	30	31	31	31	31	31	
延利用人数	321	301	368	307	333	335	349	331	294	286	263	373	3,861
平均利用者数	16.1	15.8	16.7	15.4	15.1	16.8	17.5	16.6	14.7	15.1	13.8	17.0	15.9

平均障害支援区分5.7

重点

基盤計画

2-(1)

4-(1)

4-(2)

イ 自立訓練(機能訓練)

定員6人（目標利用者数1.0人）

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243
契約者数	2	2	2	2	2	2	1	0	0	0	0	0	
延利用人数	15	28	27	28	29	23	8	0	0	0	0	0	158
平均利用者数	0.8	1.5	1.2	1.4	1.3	1.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7

ウ 自立訓練(生活訓練)

定員8人（目標利用者数2.0人）

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243
契約者数	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	
延利用人数	25	26	31	27	25	20	20	20	20	16	19	22	271
平均利用者数	1.3	1.4	1.4	1.4	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	0.8	1.0	1.0	1.1

エ 就労継続支援B型

定員26人（目標利用者数26.0人）

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243
契約者数	26	26	26	26	26	27	28	28	28	27	26	26	
延利用人数	426	403	467	431	431	431	457	426	417	399	381	476	5,145
平均利用者数	21.3	21.2	21.2	21.6	19.6	21.6	22.9	21.3	20.9	21.0	20.1	21.6	21.2

年間工賃額（円）	9,671,290
対象者数（延べ人月）	428
1人あたりの月平均工賃額（円）	31,400

オ 利用者、障がい者の多様なニーズに対応するサービスの提供

障がい者を支援する様々な機関との連携、カンファレンスを通して共通認識のもと利用者のより良い生活を目指した支援に努めた。自立支援協議会（暮らし部会・しごと部会・全体会）への参加、外部研修で得た知識を課内で共有する伝達講習の実施、虐待防止や身体拘束の適正化に関する研修の実施等、利用者のサービス向上のための取組を行った。



茶話会（4月）



はばたき縁日（10月）

（担当課：はばたきの丘）

②日中一時支援事業

障がいのある方の家族が病気や用事、休息をとるために、障がい児・者を一時的に預かり日中活動を支援した。個々のニーズに合わせほぼ希望通りに受けることができた。

新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら通常の受け入れを継続した。

（実績）

定員4人

（単位：人）

	契約者数	延利用人数
障がい児・者	12	180

（担当課：はばたきの丘）

③障害児入浴サービス事業《市受託事業》

家庭での入浴が困難な障がい児に対し、入浴サービスを実施した。個々のニーズに合わせてほぼ希望通りに受け、安全で快適な入浴環境とサービスを提供することができた。

新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら通常の受け入れを継続した。

（実績）

定員3人

（単位：人）

	契約者数	延利用人数
障がい児	3	104

（担当課：はばたきの丘）



④生活介護事業

障害者総合支援法に基づく生活介護サービスを提供し、障がいのある方が住み慣れた地域で安心して利用できるよう通所サービスを実施した。

(実績)

ア 年度末利用者状況

実利用者数 5人

延べ利用回数 年間323回

事業所別利用実績(延べ利用回数)

(単位：回)

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
口吉川	9	8	8	9	9	8	9	8	10	6	8	9	101
志 染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ひまわり	0	3	3	6	1	4	3	4	3	2	4	3	36
三木南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
三木東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
三木北	4	5	4	4	5	4	5	4	4	4	4	4	51
自由が丘	14	15	12	14	14	14	15	14	6	3	6	6	133
細 川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	27	31	27	33	29	30	32	30	23	15	22	24	323

(担当課：地域生活支援課 各地域福祉センター)

⑤ホームヘルプサービス（訪問介護）事業

障害者総合支援法に基づく訪問介護事業を提供し、障がいのある方が安心して日常生活を送れるよう、ニーズに合った質の高い訪問サービスを実施した。

(実績)

ア 年度末サービス種類別利用者状況

身体介護の利用者 9人

家事援助の利用者 8人

同行援護の利用者 6人

行動援護の利用者 0人

移動支援の利用者 4人

計27人

サービス別利用実績(延べ派遣回数)

(単位：回)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	138	132	139	125	117	107	122	125	117	98	109	132	1,461
家事援助	87	94	93	98	92	96	73	76	78	85	91	104	1,067
同行援護	22	20	20	19	16	28	22	27	20	16	21	22	253
行動援護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
移動支援	6	6	4	6	6	5	7	8	6	7	6	5	72
合計	253	252	256	248	231	236	224	236	221	206	227	263	2,853

イ 虐待防止研修の実施

開催日	内容	参加人数
9月5日	訪問介護における法令遵守と虐待防止について	18人

(担当課：地域生活支援課 ヘルパーステーション)